



Cisco Prime ネットワーク解析モジュール (NAM) 2400 シリーズ アプライアンス インスト レーション/コンフィギュレーション ガイド

2015 年 6 月

Cisco Systems, Inc.

www.cisco.com

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。
各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の
Web サイト (www.cisco.com/go/offices)
www.cisco.com/go/offices.

Text Part Number:

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. シスコの商標の一覧は、www.cisco.com/go/trademarks でご確認ください。Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco Prime ネットワーク解析モジュール (NAM) 2400 シリーズ アプライアンス インストレーション/コンフィギュレーション ガイド
© 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの概要

シスコは、2つのアプライアンス モデル、Cisco Prime NAM 2440 および Cisco Prime NAM 2420 を提供しています。

- Cisco Prime NAM 2440 アプライアンスには、高速かつ高密度な環境におけるアプリケーションのモニタリング用に4つの10ギガビットイーサネットモニタリングインターフェイスがあります。
- Cisco Prime NAM 2420 アプライアンスには、スケーラブルなマルチギガビットのスイッチングおよびルーティングの環境における多様なパフォーマンス分析のニーズを満たすため、2つの10ギガビットイーサネットモニタリングインターフェイスがあります。

この章の内容は、次のとおりです。

- [概要 Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンス \(1-1 ページ\)](#)
- [アプライアンスの機能の概要 \(1-7 ページ\)](#)

概要 Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンス

Cisco Prime NAM 2440 アプライアンスには次のような2つのモデルがあります(いずれも2RUフォームファクタ)。

- Cisco Prime NAM 2440: このモデルは、それぞれ10 Gb/sのデータレートで最大4つの10 GbEポートを介して収集データを受信します。光ファイバケーブルを使用し、また、SFP+コネクタを使用してデータ収集デバイスに接続されます。
- Cisco Prime NAM 2420: このモデルは、それぞれ10 Gb/sのデータレートで最大2つまでの10 GbEポートを介して収集データを受信します。光ファイバケーブルを使用し、また、SFP+コネクタを使用してデータ収集デバイスに接続されます。また、データポートは1GbE SFPモジュールもサポートしています。

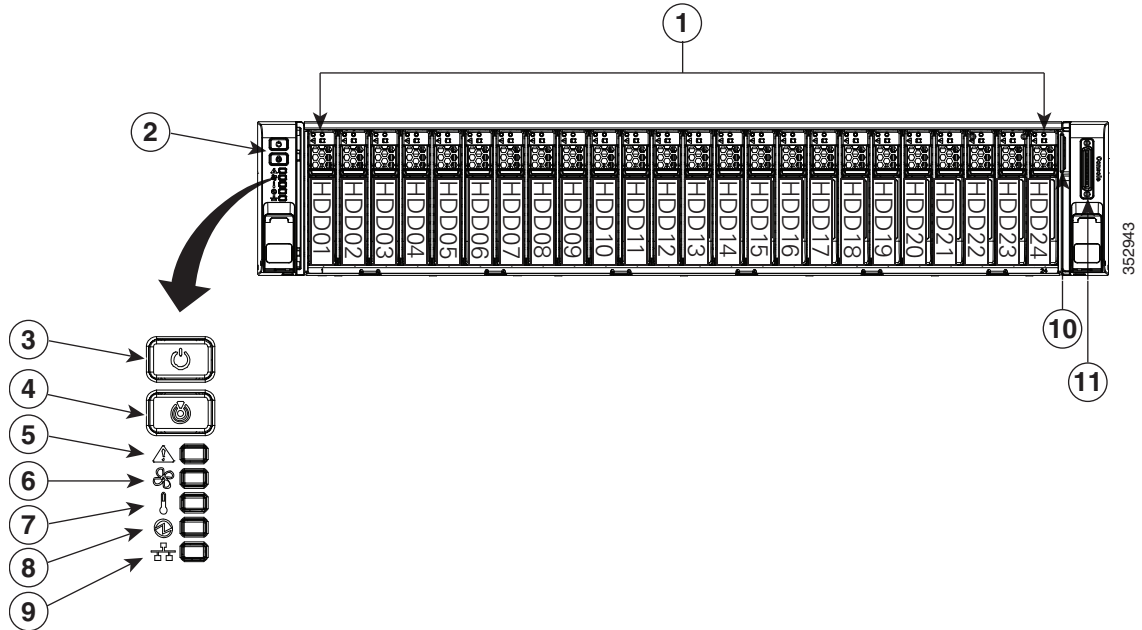
Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスは、Cisco Prime Network Analysis Module (NAM) ソフトウェアがあらかじめロードされた状態で納品され、標準のシェルフラックエンクロージャに収容されます。

次の章では、次の内容について説明します。

- [Cisco Prime NAM 2400 アプライアンスの図と LED](#)
- [入力/出力ポートおよびコネクタ](#)
- [KVM コンソール](#)
- [AC 電源装置](#)

Cisco Prime NAM 2400 アプライアンスの図と LED

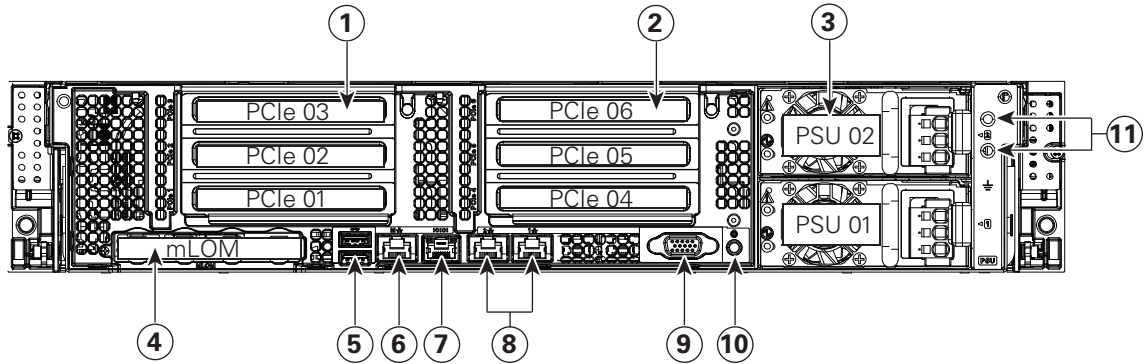
図 1-1 Cisco Prime NAM 2400 アプライアンスの正面図



| | | | |
|---|-------------------------------------|----|---|
| 1 | ドライブ ベイ 1~24(最大 24 台の 2.5 インチ ドライブ) | 7 | 温度ステータス LED |
| 2 | 操作パネル ボタンおよび LED | 8 | 電源装置ステータス LED |
| 3 | 電源ボタン/LED | 9 | ネットワーク リンク アクティビティ LED |
| 4 | ユニット識別ボタン/LED | 10 | 引き抜きアセット タグ |
| 5 | システム ステータス LED | 11 | KVM コネクタ (USB 2.0 2 個、VGA 1 個、シリアルコネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルで使用) |
| 6 | ファン ステータス LED | | |

Cisco Prime NAM 2400 アプライアンスの前面パネル LED とその状態の定義の詳細については、[「LED の読み取り方」](#)セクション(5-1 ページ)を参照してください。

図 1-2 Cisco Prime NAM 2400 アプライアンスの背面図



352947

| | | | |
|---|--|----|--|
| 1 | PCIe ライザー 1 (スロット 1, 2, 3*) *スロット 3 は一部のバージョンに存在しません。 | 7 | シリアル コネクタ (RJ-45) |
| 2 | PCIe ライザー 2 (スロット 4, 5, 6) | 8 | 内蔵 (マザーボード上) Intel i350 GbE イーサネット コントローラ ポート X 2 (LAN1, LAN2) |
| 3 | 電源装置 (図に DC 電源装置を表示) | 9 | VGA ビデオ ポート (DB-15 コネクタ) |
| 4 | モジュラ LAN-on-motherboard (mLOM) カード スロット | 10 | 背面ユニット識別ボタン/LED |
| 5 | USB 3.0 ポート (2 個) | 11 | アース ラグの穴 (DC 電源装置の場合) |
| 6 | 1 Gb 専用管理ポート | | |

関連項目

| 詳細... | 参照先 |
|---|---|
| Cisco Prime NAM 2420 アプライアンスの背面パネル LED とその状態の定義 | CiscoPrimeNAM 2400 の背面パネルの LED の読み取り方 (5-4 ページ) |
| NIC LED とその状態の定義 | NIC LED の読み取り方 (5-5 ページ) |
| AC 電源 LED とその状態の定義 | AC 電源装置の LED の読み取り方 (5-6 ページ) |

入力/出力ポートおよびコネクタ

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスは、アプライアンスの背面にある次のポートをサポートしています。

- NAM 管理ポート (LAN1、「1」のマーク付き)
- 追加ポートには次のものが含まれます。
- ビデオ コネクタは、NAM アプライアンスの通常の日常の操作には必要ありません。
 - 「M」というラベルの付いた組み込みポートは、Cisco Integrated Management Controller (CIMC) ポートです。



注

NAM 管理および CIMC の両方に対してポート「1」で単一の接続を使用するか、NAM 管理にポート「1」、CIMC にポート「M」を使用してそれぞれ異なるスイッチに接続することができます。

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスは、次のコネクタ タイプを使用します。

表 1-1 CiscoPrimeNAM シリーズ コネクタ タイプ

| アプライアンス モデル | Number of Ports | コネクタ | 必要なケーブル タイプ |
|-------------|-----------------|---|--|
| NAM2420-K9 | 2 | 1G SFP/10G SFP+。2420 のデータポートは 1G SFP もサポート。 | シングルモード ファイバまたはマルチモード ファイバ。SFP のケーブル配線仕様については、『 <i>Installing the GBIC, SFP, SFP+, and XFP Optical Modules in Cisco CPT and Cisco ONS Platforms</i> 』の「 SFP and SFP+ Description and Specifications 」を参照してください。 |
| NAM2440-K9 | 4 | 1G SFP/10G SFP+ | シングルモード ファイバ、マルチモード ファイバ、パッシブまたはアクティブの TwinAx ケーブル (5M パッシブ ケーブルを除く)。SFP+ のケーブル配線仕様については、『 <i>Installing the GBIC, SFP, SFP+, and XFP Optical Modules in Cisco CPT and Cisco ONS Platforms</i> 』の「 SFP and SFP+ Description and Specifications 」を参照してください。 |

NAM 管理ポート (LAN 1)

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスは、内蔵イーサネット コントローラ (10/100/1000 Mb/s) である LAN 1 ポートを管理ポートとして使用します。このポートをゲートウェイに接続する場合は、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスに対する管理および NAM アプリケーション アクセスをイネーブルにします。



注

Cisco Integrated Management Controller (CIMC) ポートである「M」というラベルの付いた組み込みポートを管理ポートとして使用しないでください。LAN 1 ポートは、追加機能を提供します。



注

管理ポートの接続には、少なくともカテゴリ 5e (以上) の非シールドより対線 (UTP) ケーブルを使用することを推奨します。

イーサネット ポートにアクセスするには、カテゴリ 5e (以上) の非シールドより対線 (UTP) ケーブルを、アプライアンスの背面にある RJ-45 コネクタに接続します (表 1-2 を参照)。アプライアンスには、イーサネット RJ-45-to-RJ-45 イエロー ケーブルが付属しています。

表 1-2 イーサネット ケーブル接続ガイドライン

| タイプ | 説明 |
|------------|---|
| 10BASE-T | EIA カテゴリ 3、4、または 5 UTP (2 または 4 ペア)、最大 100 m (328 フィート) |
| 100BASE-TX | EIA カテゴリ 5e (以上) UTP (2 ペア)、最大 100 m (328 フィート) |
| 1000BASE-T | EIA カテゴリ 6 (推奨)、カテゴリ 5E または 5 UTP (以上) (2 ペア)、最大 100 m (328 フィート) |

シリアル(コンソール)ポート コネクタおよびケーブル

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスでは、アプライアンスの背面にある RJ-45 シリアルポート コネクタを使用して、コンソール端末を接続します(ターミナルエミュレーションソフトウェアを実行する ASCII 端末または PC)。

ターミナルエミュレーションソフトウェアを実行する ASCII 端末または PC へのコンソールポートに接続するには、アプライアンスに付属の薄型フラットの RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバーケーブルを使用します。

背面のシリアル RJ-45 を使用しない場合は、NAM アプライアンスには前面に接続する KVM コネクタが付属されています(図 1-1 を参照)。このコネクタは、DB-9 オス型ポートおよび DB15 メス型ポートの 2 つの USB ポートに分かれています。

Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュール

Cisco Small Form-Factor Pluggable (SFP) および SFP+ トランシーバ モジュールは、モジュールソケットにプラグインするホットスワップ可能な入出力(I/O)デバイスです。トランシーバは、モジュールの電気回路を光ネットワークまたは銅線ネットワークに接続します。

関連項目

| 詳細... | 参照先 |
|--|--|
| SFP ベースの Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスで使用されるトランシーバタイプとそのケーブル要件 | 表 1-2(1-5 ページ) |
| SFP トランシーバ | 『Cisco SFP Optics for Packet-Over-Sonet/SDH and ATM Applications』 |
| SFP+ トランシーバ | 『Cisco Small Form-Factor Pluggable Modules for Gigabit Ethernet Applications Data Sheet』 |

KVM コンソール

KVM コンソールは、Cisco UCS Manager GUI または KVM の直接接続をエミュレートする KVM Launch Manager からアクセスできるインターフェイスです。KVM コンソールにより、ターミナル サーバに接続せずにリモートでシリアル コンソールを表示することができます。また、リカバリや ISO のインストールに使用される「仮想メディア」機能も提供されます。

KVM コンソールを使用して NAM アプライアンスにアクセスする場合は、アプライアンスまたはアプライアンスに関連付けられたサービス プロファイルが、CIMC IP アドレスを使用して設定されていることを確認する必要があります。KVM コンソールは、アプライアンスまたはサービス プロファイルに割り当てられた CIMC IP アドレスを使用して、正しい NAM アプライアンスを特定し、接続します。

- 接続されている管理サブネットに DHCP サーバが配置されている場合、CIMC では自動的に IP アドレスが受信されます。このアドレスは初期ブート時に表示され、シリアル コンソール接続または VGA 画面から確認することができます。
- 接続されている管理サブネットに DHCP サーバがない場合、ブート時に CIMC 構成設定を入力することによって、スタティック IP アドレスを入力する必要があります。これを実行するには、初期ブート時に <F8> を押します。アドレスが設定されると、CIMC GUI および ssh 接続が使用可能となります。

KVM コンソールの詳細については、『Cisco UCS Manager GUI Configuration Guide』の「Starting the KVM Console」の項を参照してください。

AC 電源装置

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスは、110 V および 220 V をサポートする広入力範囲の AC 電源装置を備えています。

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスに付属の電源装置の詳細については、それぞれ次を参照してください。

| アプライアンス モデル | 参照先 |
|-------------|--|
| NAM 2420 | 『Cisco UCS C240 Server Installation and Service Guide』の「Power Specifications」の項。 |
| NAM 2440 | 『Cisco UCS C240 Server Installation and Service Guide』の「Power Specifications」の項。 |



警告

ブラックの前面プレートおよびカバー パネルには、3つの重要な機能があります。シャーシ内の危険な電圧および電流による感電を防ぐこと、他の装置への電磁干渉 (EMI) の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。ステートメント 1029

電源装置用のブラック パネルはありませんが、16 ディスク構成用のブラック パネルがあります。このサーバには 24 個のディスク スロットがあるので、16 ディスク構成の場合は 8 個のブラック パネルがあります。

アプライアンスの機能の概要

Cisco Prime NAM 2420 の機能

UCS C240 M4 サーバをベースとした Cisco Prime NAM 2420 アプライアンスには次の機能があります。

| | |
|-----------------|---|
| CPU | Intel E5-2660v3 (Haswell) 2.60 GHz 105 W 10C/25 MB キャッシュ/DDR4 2133 MHz X 1 |
| メモリ | 16 GB DDR4-2133-MHz RDIMM/PC4-17000/デュアル ランク/x4/1.2v X 4 |
| ストレージ | 1 TB 2.5 インチ エンタープライズ クラス SAS 7.2K RPM HDD X 16(うち 2 個のディスクは RAID 1 でシステムおよび CDB ファイル用、その他の 14 個は RAID 5 でキャプチャ用) |
| ネットワークおよび管理 I/O | 10G Napatech NT20E3-2-PTP NIC X 2(10G SFP+ および 1G SFP モジュールをサポート。 Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュール(1-5 ページ) の項を参照) |
| ディスク管理 | Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ(4 GB のフラッシュバック式 ライト キャッシュ モジュール付き) |
| 光ドライブ | なし |
| ハードウェア フィルタ | なし |

Cisco Prime NAM 2440 の機能

UCS C240 M4 サーバをベースとした Cisco Prime NAM 2440 アプライアンスには次の機能があります。

| | |
|-----------------|---|
| CPU | Intel E5-2660v3 (Haswell) 2.60 GHz 105 W 10C/25 MB キャッシュ/DDR4 2133 MHz X 2 |
| メモリ | 16 GB DDR4-2133-MHz RDIMM/PC4-17000/デュアル ランク/x4/1.2v X 4 |
| ストレージ | 1 TB 2.5 インチ エンタープライズ クラス SAS 7.2K RPM HDD X 16(うち 2 個のディスクは RAID 1 でシステムおよび CDB ファイル用、その他の 14 個は RAID 5 でキャプチャ用) |
| ネットワークおよび管理 I/O | 10G Napatech NT40E3-4-PTP NIC X 4(10G SFP+ および 1G SFP モジュールをサポート。 Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュール(1-5 ページ) の項を参照) |
| ディスク管理 | Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ(4 GB のフラッシュバック式 ライト キャッシュ モジュール付き) |
| 光ドライブ | なし |
| ハードウェア フィルタ | なし |



Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの取り付け

この章では、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスを取り付けるために必要な情報 (ハードウェア オプションの取り付け方法、ラックへの NAM アプライアンスの取り付け方法、ケーブル接続、およびネットワークへのアプライアンスの接続方法を含む) を提供します。

これらの手順は、電気装置のハードウェア コンポーネントの取り付け、交換、取り外しの経験があり、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスに精通している技術者を対象としています。また、この情報は、サイト設計者、ネットワーク管理者、ファシリティ メンテナンス担当者にも役立つ場合があります。

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスのハードウェア コンポーネントの取り付けと交換には多くの手順が関係します。これらのほとんどの手順は、ここで示された順序で実行する必要があります。各項では、関連する 1 つのタスク グループについて説明します。その次の項のタスクはそのタスク グループに基づいて構築されています。

この章の内容は、次のとおりです。

- [要件および制限事項 \(2-2 ページ\)](#)
- [設置手順の概要 \(2-2 ページ\)](#)
- [アプライアンスを開梱して確認 \(2-4 ページ\)](#)
- [ラックへのアプライアンスの取り付け \(2-6 ページ\)](#)
- [トランシーバ モジュールの取り付け \(2-7 ページ\)](#)
- [電源の接続 \(2-9 ページ\)](#)
- [アプライアンスのケーブルの接続 \(2-10 ページ\)](#)
- [アプライアンスの電源投入 \(2-13 ページ\)](#)

要件および制限事項

この項では、製品が正常に動作するために必要な要件について説明します。

- アプライアンスを設置する前に、設置場所の構成を計画し、設置環境を整えます。Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスは Cisco UCS C240 サーバに事前に取り付けられるため、推奨される設置場所計画タスクについては、『[Cisco UCS Site Preparation Guide](#)』を参照してください。
- 物理要件、環境要件、および電力要件(温度(空調)要件、空間要件、および電力要件を含む)については、[付録 C「技術仕様」](#)を参照してください。使用可能な場合は、電源障害に備えて無停電電源装置(UPS)を使用してください。



注意

鉄共振テクノロジーを使用する UPS タイプは使用しないでください。このタイプの UPS は、Cisco UCS などのシステムに使用すると、データトラフィックパターンの変化によって入力電流が大きく変動し、動作が不安定になるおそれがあります。



注意

SFP-H10GB-CU5M(シスコの部品)ケーブルを使用してスイッチと Cisco Prime NAM 2440 アプライアンスを接続しないでください。

- キャビネットまたはラックがこの項に記載された要件に適合していることを確認します。[ラックへのアプライアンスの取り付け\(2-6 ページ\)](#)を参照してください。

設置手順の概要

ここでは、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの準備方法と設置方法の概要について説明します。



警告

設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004



警告

装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。ステートメント 1074



警告

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030



警告

この装置は、立ち入りが制限された場所への設置を前提としています。立ち入りが制限された場所とは、特殊なツール、ロックおよびキー、または他のセキュリティ手段を使用しないと入室できない場所を意味します。ステートメント 1017



警告

作業を開始する前に装置の電源をオフにします。ステートメント 237

**警告**

怪我またはシャーシの破損を防ぐために、モジュール(電源装置、ファン、またはカードなど)のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対に避けてください。これらのハンドルは、シャーシの重さを支えるようには設計されていません。ステートメント 1032

**警告**

電源コードが接続されている場合は、電源に触れないでください。電源スイッチを備えたシステムの場合、電源スイッチがオフになっていても、電源コードが接続されていれば、電源装置内部に入力電圧がかかっています。電源スイッチのないシステムの場合、電源コードが接続されていれば、電源装置内部に入力電圧がかかっています。ステートメント 4

**警告**

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- ラックに設置する装置が1台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下に設置して、下から順番に取り付けます。
- ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守したりしてください。ステートメント 1006

ステップ 1 次の内容を参照してください。

- [『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco UCS C-Series Servers』](#)
- [付録 B「安全に関する注意事項」](#)

ステップ 2 各コンポーネントを開梱し、輸送中に起きた損傷を調べます。必要なすべてのコンポーネントがあることを確認します。

[アプライアンスを開梱して確認\(2-4 ページ\)](#)を参照してください。

ステップ 3 Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスをラックに設置します。

[ラックへのアプライアンスの取り付け\(2-6 ページ\)](#)を参照してください。

ステップ 4 トランシーバ モジュールを取り付けます。

[トランシーバ モジュールの取り付け\(2-7 ページ\)](#)を参照してください。

ステップ 5 アプライアンスを電源に接続します。

[電源の接続\(2-9 ページ\)](#)を参照してください。

ステップ 6 アプライアンスのケーブルを接続します。

[アプライアンスのケーブルの接続\(2-10 ページ\)](#)を参照してください。

ステップ 7 電源を入れます。

[アプライアンスの電源投入\(2-13 ページ\)](#)を参照してください。

ハードウェアの設置が完了したら、アプライアンスを設定します。[第3章「Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの設定」](#)を参照してください。

アプライアンスを開梱して確認



注意

内部アプライアンスのコンポーネントを取り扱うときは、静電気防止用ストラップを着用し、モジュールのフレームの端のみを持つようにしてください。



ヒント

設置の準備ができるまでは、アプライアンスを輸送用の箱から取り出さないでください。



ヒント

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスを輸送するときに使用された梱包材は廃棄しないでください。アプライアンスを移動または出荷する場合に、将来梱包材料が必要になります。



注

シャーシは厳密に検査したうえで出荷されています。輸送中の破損や内容品の不足がある場合には、ただちにカスタマー サービス担当者に連絡してください。

出荷物を開梱して調べます。

-
- ステップ 1** 段ボール箱からアプライアンスを取り出します。梱包材はすべて保管しておいてください。
- ステップ 2** 輸送された内容と機器リストを比較します。すべての品目が揃っていることを確認してください。アプライアンス、ケーブル、および注文したオプションの機器は、複数の箱で出荷されることがあります。箱を開梱するときは、品目と梱包明細書を照合し(表 2-1と表 2-2を参照)、すべての部品の受け取りを確認します。
- ステップ 3** 破損の有無を調べ、内容品の間違いや破損がある場合には、カスタマー サービス担当者に連絡してください。次の情報を用意しておきます。
- 発送元の請求書番号(梱包明細を参照)
 - 破損している装置のモデルとシリアル番号(シリアル番号の場所(A-5 ページ)を参照)
 - 破損状態の説明
 - 破損による設置への影響
-

Cisco Prime NAM 2420 アプライアンスの梱包明細書

次の表に、Cisco Prime NAM 2420 アプライアンスとともに出荷される品目の一覧を示します。損傷を受けたり、足りなかったりする項目を記録するために、Notes セクションがあります。

表 2-1 Cisco Prime NAM 2420 アプライアンスの梱包明細書

| ✓ | 項目 |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | Cisco Prime NAM 2420 アプライアンス (Cisco UCS C240 サーバに事前に取り付けられる) |
| <input type="checkbox"/> | (お客様が選択した) 電源コード |
| <input type="checkbox"/> | ケーブル アセンブリ、イーサネット、RJ45-RJ45 (黄色、6 フィート) |
| <input type="checkbox"/> | CABASY、コンソール、RJ45/DB9 |
| <input type="checkbox"/> | CABASY、RF、MICRO MINITURE、FOX 36P、9P DSUB、USB、ドングル ケーブル |
| <input type="checkbox"/> | ASY、MECH、レール キット、1RU、SAVBU |
| <input type="checkbox"/> | 『Cisco Prime NAM Documentation Roadmap』 |

Cisco Prime NAM 2440 アプライアンスの梱包明細書

次の表に、Cisco Prime NAM 2440 アプライアンスとともに出荷される品目の一覧を示します。損傷を受けたり、足りなかったりする項目を記録するために、Notes セクションがあります。

表 2-2 Cisco Prime NAM 2440 アプライアンスの梱包明細書

| ✓ | 項目 |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | Cisco Prime NAM 2440 アプライアンス (Cisco C240 サーバに事前に取り付けられる) |
| <input type="checkbox"/> | (お客様が選択した) 電源コード |
| <input type="checkbox"/> | ケーブル アセンブリ、イーサネット、RJ45-RJ45 (黄色、6 フィート) |
| <input type="checkbox"/> | CABASY、コンソール、RJ45/DB9 |
| <input type="checkbox"/> | CABASY、RF、MICRO MINITURE、FOX 36P、9P DSUB、USB、ドングル ケーブル |
| <input type="checkbox"/> | ASY、MECH、レール キット、2RU、SAVBU |
| <input type="checkbox"/> | 『Cisco Prime NAM Documentation Roadmap』 |

ラックへのアプライアンスの取り付け

次のタイプのラックを使用する必要があります。

- 標準的な 19 インチ (48.3 cm) 幅 4 支柱 EIA ラック (ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に準拠した英国ユニバーサル ピッチに適合するマウント支柱付き)。
- 付属のスライド レールを使用する場合、ラック支柱の穴は、0.38 インチ (9.6 mm) の正方形、0.28 インチ (7.1 mm) の丸形、#12-24 UNC、または #10-32 UNC になります。
- 各アプライアンスの縦方向の最小ラック スペースは、2 RU、つまり 3.5 インチ (88.9 mm) である必要があります。

このアプライアンス用にシスコから提供されるスライド レールを取り付けるには工具が必要ありません。内側のレール(取り付けブラケット)が、アプライアンスの側面に事前に取り付けられています。

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスは Cisco UCS C240 サーバに事前に取り付けられているため、推奨されるラック マウント タスクについては、次の UCS インストール ガイドを参照してください。

| アプライアンス | 参照先 |
|---------|---|
| 2420 | 『Cisco UCS C240 Server Installation and Service Guide』の「 Installing the Server In a Rack 」の項。 |
| 2440 | 『Cisco UCS C240 Server Installation and Service Guide』の「 Installing the Server In a Rack 」の項。 |

トランシーバモジュールの取り付け

ハードウェア オプションとして SFP または SFP+ トランシーバ モジュールを注文したり、Cisco.com の [データシート](#) に記載された仕様を満たすモジュール(すでに所有している場合があります)を使用したりできます。これらのモジュールは破損しやすいため、別々に梱包され、出荷前にアプライアンスに取り付けられません。

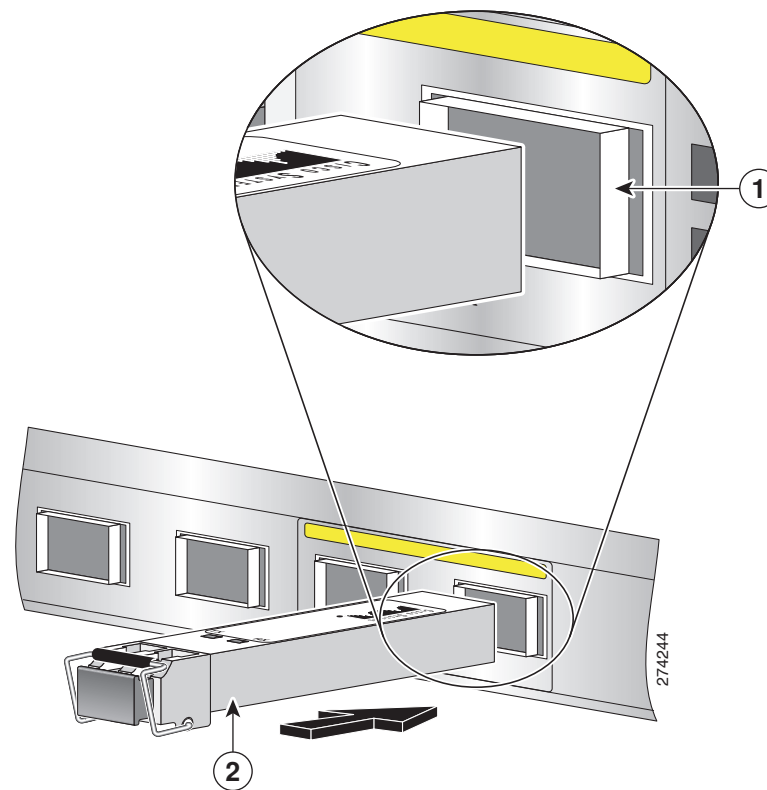


注意

モジュールにはラベルやマーキングを追加しないでください。

図 2-1 に、SFP+ モジュールの詳細な取り付け図を示します。

図 2-1 SFP+ モジュールの取り付け



| | | | |
|----------|------------------|----------|-----------------------|
| 1 | 背面パネルの SFP+ スロット | 2 | 背面パネル スロットに向けられた SFP+ |
|----------|------------------|----------|-----------------------|

SFP または SFP+ モジュールを Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスに取り付けるには、次の手順を実行します。

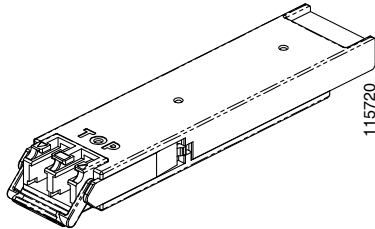
- ステップ 1** 取り付ける予定のトランシーバ モジュールを特定し、保護パッケージを取り除きます。
- ステップ 2** モジュールを取り付ける、NAM アプライアンスの背面パネルにある 2 つのスロットを確認します。

SFP および SFP+ モジュールは、ベイル クラスプ ラッチ メカニズムを使用します(図 2-2 はラッチなし、図 2-3 はラッチありを示しています)。

- ステップ 3** ラッチがオープンな状態で、抵抗を感じるまでモジュールをスロットにスライドさせ、モジュールがソケットに挿入されることを感じるまで(または、カチッという音がしてモジュールがソケットに挿入されるまで)モジュールを押します。

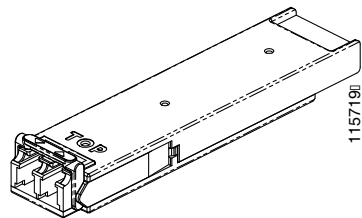
図 2-2 に、ラッチがオープン状態のトランシーバ モジュールの例を示します。

図 2-2 トランシーバ モジュール(ラッチなし)



- ステップ 4** 指でラッチを上方向に引っ張り、モジュールをスロットにロックします。

図 2-3 トランシーバ モジュール(ラッチあり)



- ステップ 5** 光ファイバ ケーブルを接続します。

- ステップ 6** 前面パネルの LED を観察して、接続が適切に動作していることを確認します(「LED の読み取り方」セクション(5-1 ページ)を参照)。

トランシーバ モジュールを交換するには、トランシーバ モジュールの交換(5-7 ページ)を参照してください。

電源の接続

NAM アプライアンスを設置する場合は、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンス に同梱された AC 電源コードを使用してください。

AC 電源コードは、アプライアンスの主要な切断手段と見なされ、設置時に容易にアクセスする必要があります。切断のためにアプライアンスの電源コードに容易にアクセスできない場合は、ラック全体の AC 電源の切断手段を取り付ける必要があります。この切断手段には容易にアクセスできる必要があります、アプライアンスだけでなくラック全体への電源を制御することを示すラベルが適切に付けられている必要があります。

AC 電源を Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスに接続するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 付録[安全に関する注意事項](#)に記載された[電気製品を扱う場合の注意](#)の情報を参照します。

ステップ 2 ラックを接地します。

感電の可能性を避けるために、ラックの設置では、第 3 配線として保護アース導体を設ける必要があります。アプライアンスの電源コードがラックの一部の AC コンセントに接続されている場合は、ラック自体を適切に接地する必要があります。アプライアンスの電源コードが壁面のコンセントに接続されている場合は、電源コードの保護アース導体により、アプライアンスのみが適切に接地されます。ラックは別に接地する必要があります。

ステップ 3 AC 電源コードをアプライアンスの背面にある AC 電源入力コネクタに接続し(図 1-2を参照)、電源コードのもう一方を設置場所の電源に接続します。

AC 電源コードは、アプライアンスの主要な切断手段と見なされ、設置時に容易にアクセスする必要があります。切断のためにアプライアンスの電源コードに容易にアクセスできない場合は、ラック全体の AC 電源の切断手段を取り付ける必要があります。この切断手段には容易にアクセスできる必要があります、アプライアンスだけでなくラック全体への電源を制御することを示すラベルが適切に付けられている必要があります。



注意

まだ装置の電源をオンにしないでください。

アプライアンスのケーブルの接続

この項では、ケーブルを Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスに接続する方法について説明します。説明する項目は次のとおりです。

- [管理ポートの接続](#)
- [モニタリングポートの接続](#)
- [コンソールターミナルの接続](#)
- [モニタとアプライアンスの接続](#)

管理ポートの接続

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの管理ポートは LAN 1 ポートで、RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ネットワーク インターフェイス コネクタです。

Cisco Prime NAM 2400 アプライアンスの管理ポートを接続するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** Cat5e(またはそれ以上)UTP ケーブルの一方をアプライアンスの LAN 1 ポートに接続します。
 - ステップ 2** ケーブルのもう一方をネットワークのハブまたはスイッチ(ゲートウェイ)に接続します。
 - ステップ 3** 管理ポートの接続後に、前面パネルの LED を観察して、接続が適切に動作していることを確認します([「LED の読み取り方」セクション\(5-1 ページ\)](#)を参照)。
-

モニタリングポートの接続

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスをモニタリング対象デバイス(スイッチやルータなど)に直接接続したり、光タップ デバイスを使用して 2 つのデバイス間に NAM アプライアンスを接続したりできます。これらの接続方法については次のトピックを参照してください。

- [直接接続](#)
- [光タップの接続](#)

直接接続

通常の NAM の取り付けでは、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスはリモート デバイスの SPAN ポートからスイッチまたはルータのトラフィックを受け取ります。

スイッチやルータなどの監視するデバイスに Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスを直接接続するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** リモート デバイスのポートと Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの背面パネルのトランシーバ モジュール間の光ファイバ ケーブルを稼働します。



- 注** Cisco Prime NAM 2420 および 2440 はいずれも 10G ポートを備えています。また、1GbE SFP および 10GbE SFP+ モジュールをサポートしています。接続の両端でモジュールが一致することを確認してください。
-

**注意**

SFP-H10GB-CU5M(シスコの部品)ケーブルを使用してスイッチと Cisco Prime NAM 2440 アプライアンスを接続しないでください。

ステップ 2

アプライアンスの接続後に、前面パネルの LED を観察して、接続が適切に動作していることを確認します(「LED の読み取り方」セクション(5-1 ページ)を参照)。

光タップの接続

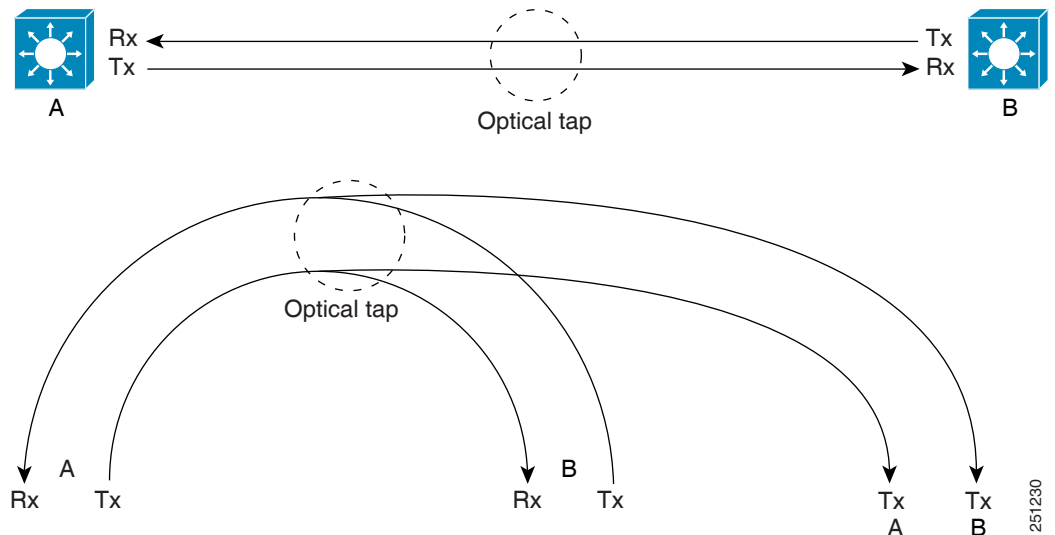
NAM の取り付けでは、2つのデバイス間の Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスを特定することにより、2つのデバイス間のトラフィックを監視することもできます。トラフィック タッピングを使用すると、ネットワーク タップが、いずれかの NAM データ ポートへのトラフィックの各方向をミラーリングし、2つのデバイス間でトラフィックを渡します。

光タップ デバイスを使用して 2つのリモート デバイス間に Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスを接続できます。光タップは、[図 2-4](#)に示されたように、2つのリモート デバイスを接続するケーブルの送信側をミラーリングします。

**注**

光タップ接続には、2つの追加の光ファイバケーブルが必要です。

図 2-4 光タップの接続

**注**

光タップとケーブルの仕様については、[付録 C「技術仕様」](#)を参照してください。

光タップを使用して 2つのデバイスの Tx 信号を Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの管理ポートに接続するには、次の手順を実行します。

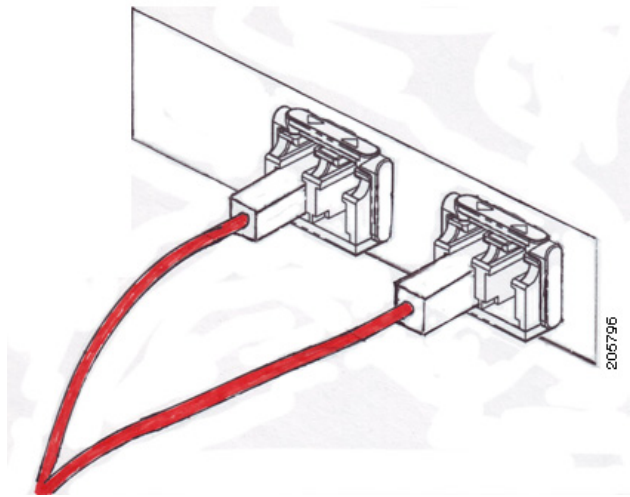
ステップ 1

2つのデバイスを接続する 10 GbE 光ファイバケーブルを切断し、ケーブルの切断された側をデバイス A の光タップの適切なポートに接続します。

■ アプライアンスのケーブルの接続

- ステップ 2** 別の 10 GbE 光ファイバ ケーブルをデバイス B の出力ポートに接続し、もう一方をデバイス B の光タップの適切なポートに接続します。
- ステップ 3** 光タップ デバイスの Tx A/Tx B ポートと Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンス間の 3 つ目の 10 GbE 光ファイバ ケーブルを稼働します。
- ステップ 4** Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスで、10 GbE 光ファイバ ケーブルの終端にあるコネクタを分けます。
- 10 GbE 光ファイバ ケーブルの 2 つのコネクタを別々の SFP に接続し、アプライアンスが 2 つのデバイス間のすべてのトラフィックをモニタできるようにします。光タップ構成の光ファイバ ケーブルと SFP の接続を示す図については、[図 2-5](#)を参照してください。

図 2-5 光タップ構成の光ファイバケーブルの接続



- ステップ 5** デバイス A の Tx コネクタを右の SFP の左側に接続します (logical DataPort1)。
- ステップ 6** デバイス B の Tx コネクタを左の SFP の左側に接続します (logical DataPort2)。

ブレイクアウト モード構成を使用するには、光タップを使用して、接続された 2 つのデバイスの Tx 信号と Rx 信号を分割し、NAM アプライアンスが両方のデバイスの Tx を受け取って、各デバイスの送信出力を確認するようにします。

次の 2 つのブレイクアウト モード構成があります。

- 監視対象データ トラフィックの 1 つの方向の Tx は、1 つのブレイクアウト ポートの Tx で複製され、監視対象データ トラフィックのもう 1 つの方向の Tx は、もう 1 つのブレイクアウト ポートの Tx で複製されます。
この場合は、2 つの出力複製ポート (1 つは 1 つの方向の Tx 用、もう 1 つはもう 1 つの方向の Tx 用) が提供されます。各複製ポートは、トラフィックの両方の方向を監視するアプライアンスの別の監視ポートに対して使用されます。
- 監視対象データ トラフィックの 1 つの方向の Tx は、ブレイクアウト ポートの 1 つの Tx 接続で複製され、監視対象データ トラフィックのもう 1 つの方向の Tx は、同じブレイクアウト ポートのもう 1 つの Tx 接続で複製されます。

この場合は、両方の方向が Tx である 1 つの複製ポートのみが提供されます。また、この場合は、1 つの光ファイバ ケーブルのコネクタを分割し、一方のコネクタをアプライアンスの一方の監視ポートに接続し、もう一方のコネクタをアプライアンスの別の監視ポートに接続します。

コンソール ターミナルの接続

ターミナルエミュレーション ソフトウェアが実行されている PC を使用して、コンソール ターミナルを次の 2 つのいずれかの方法で Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスのコンソール ポートに接続できます。

- ロールオーバー ケーブルを使用してターミナルをアプライアンスのコンソール ポートに接続します(図 1-2 を参照)。

ロールオーバー ケーブルは、アプライアンスに同梱されます。

- ターミナル サーバをアプライアンスのコンソール ポートに接続します。

コンソール ターミナルの接続後に、前面パネルの LED を観察して、接続が適切に動作していることを確認します(「LED の読み取り方」セクション(5-1 ページ) を参照)。

ターミナルまたはターミナルエミュレーション ソフトウェアを設定します(表 2-3 を参照)。

表 2-3 ターミナルの設定

| | |
|--------------|------|
| ボー レート | 9600 |
| データ ビット | 8 |
| パリティ | No |
| ストップ ビット | 1 |
| ハードウェア フロー制御 | 消灯 |

モニタとアプライアンスの接続

モニタを Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスに接続できますが、これは必須ではありません。コンソールと NAM アプライアンスの接続は別の方法で確立できます。Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスは、VGA モニタをサポートします。

VGA モニタ コネクタはアプライアンスの背面パネルにあります(図 1-2 を参照)。

モニタ ケーブルの接続後に、前面パネルの LED を観察して、接続が適切に動作していることを確認します(「LED の読み取り方」セクション(5-1 ページ) を参照)。

アプライアンスの電源投入

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスのすべての接続が完了したら、AC 電源を投入できます。電源スイッチは前面パネルにあります(図 1-1 を参照)。

オペレーティング システムが起動したら、前面パネルの LED を観察してシステムが適切に稼働していることを確認します(「LED の読み取り方」セクション(5-1 ページ) を参照)。



Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの設定

この章では、NAM コマンドライン インターフェイス (CLI) を使用して、ネットワーク接続を確立し、IP パラメータを設定するために、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスを設定する方法、およびその他の必要な管理タスクを実行する方法について説明します。この章ではまた、NAM グラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) を開始する方法、およびさまざまなシステム管理タスクを実行する方法も説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- [最初のログイン](#)
- [ルート パスワードの変更](#)
- [NAM ルート パスワードのデフォルト値へのリセット](#)
- [ネットワーク接続の確立](#)
- [設定の確認](#)
- [システムの状態の検証](#)
- [NAM Web サーバのイネーブル化](#)
- [監視対象デバイスの設定](#)
- [NAM への Telnet または SSH セッションの開始と終了](#)
- [アプライアンスのシャットダウンと起動](#)

NAM 設定情報の詳細については、NAM Web サーバ インターフェイスを使用するか、『[Network Analysis Module Command Reference](#)』を参照してください。

最初のログイン

最初に Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの電源をオンにしてブートすると、接続されたコンソールにログインプロンプトが表示されます。工場出荷時、root ユーザは Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスにあらかじめ設定されています。root ユーザのデフォルトのパスワードは `root` です。



注 最初のログイン セッション中に、ユーザ root のパスワードを変更する必要があります。

root ユーザは、NAM のルート (読み取り/書き込み) レベルにアクセスし、NAM コマンドライン インターフェイス (CLI) コマンドを入力できます。

初めて Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスにログインするには、NAM アプライアンスとのコンソール セッションまたはシリアル セッションを開きます。次に CiscoPrimeNAM 2440 とのセッションを開く例を示します。



注

初回ログイン後、NAM アプライアンスへの **telnet** および **ssh** 接続をイネーブルにできます。

ステップ 1 NAM ログイン プロンプトが表示されたら、**root** を入力して Enter を押します。

```
nam.localdomain login: root
```

ステップ 2 パスワード プロンプトが表示されたら、**root** を入力して、Enter を押します。

ID とパスワードを入力すると、**root** のパスワードを変更するようプロンプトが表示されます。

```
nam2420-209.localdomain login: root
Password:
Last login: Mon Aug 20 08:28:34 2012 from sjc-vpn2-1516.cisco.com on pts/1
```

```
Cisco Prime NAM Appliance 2420 ("NAM2420-K9") Console, 6.2
Copyright (c) 1999-2012 by Cisco Systems, Inc.
```

```
System_Alert! Default password has not been changed!
Please enter a new root user password.
Enter new password:
```

ステップ 3 root ユーザの新しいパスワードを入力し、それを再度入力します。

```
Confirm new password:
Successfully changed password for user 'root'
```

パスワードを記録して、この情報を安全な場所に保管することを推奨します。設置場所のパスワード セキュリティ ポリシーに従って、このパスワードを定期的に変更する必要があります。[ルートパスワードの変更 \(3-2 ページ\)](#) を参照してください。

ルートパスワードの変更

この項では、初回ログイン セッション後に root ユーザのパスワードを変更する方法について説明します。root パスワードを変更するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 NAM アプライアンスとのコンソール セッションまたはシリアル セッションを開きます。

ステップ 2 ユーザ名を求めるプロンプトが表示されたら、**root** を入力します。

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスは、工場出荷時にデフォルトでユーザ **root** のパスワードが **root** に設定されています。

ステップ 3 パスワード入力を促されたときは、ユーザ **root** のパスワードを入力します。

root ユーザとしてログインすると、NAM アプライアンスのルート レベルに読み取りおよび書き込みアクセスができ、CLI コマンドを入力して実行することができます。

```
root@hostname#
```

ステップ 4 次のコマンドを入力して、root ユーザのパスワードを変更します。

```
password root
```

```
新しいパスワード:  
Confirm password:
```

ステップ 5 ユーザ root の新しいパスワードを入力し、確認します。

パスワードを記録して、この情報を安全な場所に保管することを推奨します。設置場所のパスワード セキュリティ ポリシーに従って、このパスワードを定期的に変更する必要があります。

ステップ 6 **exit** を入力してセッションを終了し、ログアウトします。

例

ここで紹介する例は、次のとおりです。

- [NAM ルート パスワードの変更:例\(3-3 ページ\)](#)
- [NAM ルート パスワードの検証:例\(3-3 ページ\)](#)

NAM ルート パスワードの変更:例

```
root@nam2420-209.localdomain# password root  
Enter new password:  
Confirm new password:  
Successfully changed password for user 'root'
```

NAM ルート パスワードの検証:例

```
nam1.company.com login: root  
Password: <rtpswd>  
Terminal type: vt100  
  
Cisco Prime NAM Appliance 2420 ("NAM2420-K9") Console, 6.2  
Copyright (c) 1999-2012 by Cisco Systems, Inc.  
  
root@nam1.company.com#  
root@nam1.company.com# exit
```

NAM ルート パスワードのデフォルト値へのリセット

NAM ルート パスワードをデフォルト値へリセットする方法の詳細については、『[Cisco Prime Network Analysis Module Software User Guide](#)』を参照してください。

ネットワーク接続の確立

この項では、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスを設定して IP パラメータを設定し、ネットワーク接続を確立する方法を説明します。

管理コンソールから Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスにログインし、適切な設置場所の情報を使用して次の CLI コマンドを入力します。

- ステップ 1** **ip address** コマンドを使用して、NAM アプライアンスの IP アドレスを設定します。このコマンドの構文は次のとおりです。

```
ip address ip-address subnet-mask
```

例

```
root@localhost# ip address 172.20.104.126 255.255.255.248
```

- ステップ 2** **ip gateway** コマンドを使用して、NAM アプライアンスのデフォルト ゲートウェイアドレスを設定できます。このコマンドの構文は次のとおりです。

```
ip gateway ip-address
```

例

```
root@localhost# ip gateway 172.20.104.123
```

- ステップ 3** **exsession** コマンドを使用して、Telnet または SSH を使用した NAM アプライアンスへのリモート ログインをイネーブルにできます。この(オプション)コマンドの構文は次のとおりです。

```
exsession on (Telnet の場合)
```

または

```
exsession on ssh (SSH の場合)
```

例

Telnet アクセスをイネーブルにするように NAM アプライアンスを設定するには、次のコマンドを実行します。

```
root@localhost# exsession on
```

SSH アクセスをイネーブルにするように NAM アプライアンスを設定するには、次のコマンドを実行します。

```
root@localhost# exsession on ssh
```

- ステップ 4** **ip domain** コマンドを使用して、NAM アプライアンス システムのドメイン名を設定できます。この(オプション)コマンドの構文は次のとおりです。

```
ip domain name
```

例

```
root@localhost# ip domain your_company.com
```

- ステップ 5** **ip host** コマンドを使用して、NAM アプライアンス システムのホスト名を設定できます。
このコマンドの構文は次のとおりです。

```
ip host name
```

例

```
root@localhost# ip host nam_machine
```

- ステップ 6** (オプション)**ip nameserver** コマンドを使用して、NAM アプライアンスに1つまたは複数のネームサーバを設定することが望ましい場合もあります。

このコマンドの構文は次のとおりです。

```
ip nameserver ip-address [ip-address] [ip-address]
```

例

```
root@localhost# ip nameserver 172.20.104.10
```

```
root@localhost# ip nameserver 172.20.104.10 172.20.104.20 172.20.104.30
```

設定の確認

NAM アプライアンスのネットワーク接続の設定終了後に、接続の確認および NAM アプライアンスに設定した IP パラメータの検証を行うことを推奨します。

- ステップ 1** **ping** コマンドを使用して、NAM アプライアンスとネットワーク デバイス間の接続を確認します。
このコマンドの構文は次のとおりです。

```
ping {hostname | ip-address}
```

例

```
root@localhost# ping nam_machine.your_company.com
```

```
root@localhost# ping 172.20.104.10
```

次は、正常な接続を示す **ping** コマンドの例です。

```
root@nam_machine.your_company.com# ping 172.20.104.10  
PING 172.20.104.10 (172.20.104.10) 56(84) bytes of data.  
64 bytes from 172.20.104.10: icmp_seq=1 ttl=254 time=1.27 ms  
64 bytes from 172.20.104.10: icmp_seq=2 ttl=254 time=1.13 ms  
64 bytes from 172.20.104.10: icmp_seq=3 ttl=254 time=1.04 ms  
64 bytes from 172.20.104.10: icmp_seq=4 ttl=254 time=1.08 ms  
64 bytes from 172.20.104.10: icmp_seq=5 ttl=254 time=1.11 ms  
  
--- 172.20.104.10 ping statistics ---  
5 packets transmitted, 5 received, 0% packet loss, time 4003ms  
rtt min/avg/max/mdev = 1.043/1.129/1.278/0.090 ms  
root@nam_machine.your_company.com#
```

ステップ 2 **show ip** コマンドを使用して、NAM アプライアンスの IP パラメータが希望どおりに設定されたことを確認します。

このコマンドの構文は次のとおりです。

show ip

```
root@localhost# show ip root@nam1.company.com# show ip
```

次は、設定された NAM アプライアンスを示す **show ip** コマンドの出力例です。

```
root@appliance-2440-96.cisco.com# show ip

==== IP/DNS Configuration ====
IPv4 Address/Netmask:    172.20.124.96 / 255.255.255.0
IPv4 Default Gateway:   172.20.124.47
IPv4 Broadcast:         172.20.124.255
IPv6 Address:            2001:20:1:100::96/64
IPv6 Default Gateway:   2001:20:1:100::1
Host Name:               appliance-2440-96.cisco.com
Nameserver(s):          171.70.168.183

==== Remote Access & Authentication ====
HTTP:                    Enabled (on port 80)
HTTPS:                   Disabled
SSH:                     Enabled (on port 22)
Telnet:                  Enabled (on port 23)
TACACS+:                 Disabled

==== File Sharing Services ====
SMB:                     Disabled
SFTP:                    Disabled
```

システムの状態の検証

インストール、アップグレード、またはダウングレードのステータスを確認したり、問題をトラブルシューティングするには、表 3-1、**共通の診断コマンド**および **show コマンド**に一覧表示されているコマンドを使用します。



注

- この項の表では、管理対象デバイスとネットワーク モジュールで共通のコマンドだけを記載します。
 - 使用可能なすべてのコマンドの一覧を表示するには、**?** をプロンプトで入力します (例: user@nam_host.domain# ?)。
 - すべてのコマンド キーワード オプションの一覧を表示するには、**?** をコマンドの末尾に追加します (例: nam_host.domain# ip ?)。
- 表では、コンフィギュレーション モード別にコマンドを記載しています。同じコマンドが複数のモードで利用できる場合は、モードによってコマンドの動作が異なることがあります。



注

多くの **show** コマンドには、診断出力を画面に表示したり、出力をファイルまたは URL に送信したりするためのキーワード オプションが含まれます。

表 3-1 共通の診断コマンドおよび show コマンド

| コマンド | 目的 |
|------------------------------------|---|
| clear access-log | Web アクセス ログをクリアします。 |
| clear captured-data-files | NAM ローカルドライブでキャプチャされたすべてのファイルを削除します。 |
| clear monitoring-data | NAM 上のすべてのモニタリング データを削除します。 |
| clear system-alerts | システム アラートをクリアします。 |
| clear system-passwords | アプリケーション イメージのデフォルトの CLI パスワードを復元します。 |
| ping | 指定した IP アドレスまたはホスト名に ping を送信して、ネットワーク接続を確認します。 |
| show access-log | Web アクセス ログを表示します。 |
| show application | プロトコルグループ化情報を表示します。 |
| show audit-trail | Web GUI のログイン設定および CLI のアクセス設定を表示します。 |
| show autcreate-data-source | データ ソースの自動作成の設定を表示します。 |
| show cdb | CDB ファイルに関する情報を表示します。 |
| show cdp settings | CDP の設定を表示します。 |
| show certificate | インストールされた証明書を表示します。 |
| show certificate-request | 証明書署名要求を表示します。 |
| show clock | 現在のデータと時間を表示します。 |
| show configuration | configure コマンドを使用して入力した bootloader の現在の設定を表示します。 |
| show data-source | データ ソースを表示します。 |
| show date | 現在のデータと時間を表示します。 |
| show debug | デバッグ情報を表示します。 |
| show device | リモート デバイスを表示します。 |
| show email | 電子メールの設定を表示します。 |
| show entity | エンティティ MIB 情報を表示します。 |
| show flow-cache-sizes | NAM 内部キャッシュのサイズを表示します。 |
| show ftp | スケジュールレポートの FTP 設定を表示します。 |
| show hosts | hosts のエントリを表示します。 |
| show inventory | システムのインベントリ情報を表示します。 |
| show ip | IP パラメータを表示します。 |
| show local-storage all | すべての物理ディスクおよび仮想ドライブを表示します。 |
| show local-storage physical | すべての物理ディスクを表示します。 |

表 3-1 共通の診断コマンドおよび show コマンド (続き)

| コマンド | 目的 |
|-----------------------------|--|
| show local-storage progress | ドライブ再構築の進行状況を表示します。 |
| show local-storage virtual | すべての仮想ドライブを表示します。 |
| show log | NAM の設定、パッチ、レポート、およびアップグレードのログを表示します。 |
| show memory | インストールされたメモリの量、使用可能な量、およびシステムで現在使用されている量を表示します。 |
| show monitor | 設定した収集を表示します。 |
| show patches | インストールされたパッチを表示します。 |
| show preferences | NAM Web インターフェイスの設定を表示します。 |
| show protocol-feature | 解析プロトコル機能の設定を表示します。 |
| show remote-storage | キャプチャ データを保管するためのリモート ストレージの設定を表示します。 |
| show snmp | SNMP パラメータを表示します。 |
| show syslog-settings | NAM の syslog の設定を表示します。 |
| show system-alerts | NAM の障害と問題を表示します。 |
| show tech-support | シスコのテクニカル サポートが問題の診断に利用できるホスト ルータの情報を表示します。 |
| show time | NAM のシステム時刻の設定を表示します。 |
| show trap-dest | NAM トラップの送信先を表示します。 |
| show version | ルータ、ソフトウェア、ネットワーク モジュールの bootloader のバージョン情報とハードウェア、デバイスについての情報を表示します。 |
| show waas | WAAS デバイスおよびデータ ソースを表示します。 |
| show web-publication | Web パブリケーションの設定を表示します。 |
| show web-users | 現在のローカル Web ユーザのリストを表示します。 |

NAM Web サーバのイネーブル化

この項では、NAM Web サーバ、および NAM グラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) へのブラウザベースのアクセスをイネーブルにする方法を説明します。



注

NAM をイネーブルにして、HTTP サーバまたは HTTPS セキュア サーバとして機能させることができますが、同時に両方を機能させることはできません。

NAM Web サーバをイネーブルにして、ブラウザベースのアクセスを準備するために、使用中の Web ブラウザが対象の NAM ソフトウェア リリースをサポートしていることを確認します。



注

サポートされるブラウザのリストについては、『[NAM software release notes](#)』を参照してください。

NAM Web サーバをイネーブルにするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** NAM アプライアンスへの Telnet または SSH セッションを開いて、パスワード プロンプトでパスワードを入力します。

```
telnet {ip-address | hostname}
```

または

```
ssh {ip-address | hostname}
```

- ステップ 2** 次のコマンドの1つを入力して、HTTP サーバまたは HTTPS セキュア サーバをイネーブルにします。NAM HTTP Web サーバをイネーブルにするには、次のコマンドを入力します。

```
ip http server enable
```

NAM HTTPS セキュア Web サーバをイネーブルにするには、次のコマンドを入力します。

```
ip http secure server enable
```

NAM により Web 管理者のユーザ名が要求されます。

```
Enabling HTTP server...
```

```
No web users are configured.
```

```
Please enter a web administrator user name [admin]: <CR>
```

NAM Web サーバでは、少なくとも 1 人の Web 管理者が正しく設定されている必要があります。NAM で Web ユーザ名とパスワードが要求されない場合は、少なくとも 1 人の Web 管理者が以前に設定されています。

- ステップ 3** Web 管理者のユーザ名を入力します。別の方法としては、Enter を押して、デフォルトの Web 管理者のユーザ名である *admin* を使用します。

NAM により Web 管理者のパスワードが要求されます。次に、正確さを確保するためパスワードを再入力するように要求されます。

```
New password: <adminpswd>
```

```
Confirm password: <adminpswd>
```

- ステップ 4** Web 管理者のパスワードを入力し、確認します。



注

このマニュアルは、Cisco.com 経由で一般に公開されているため、このパスワードとすべてのデフォルトのパスワードをできるだけ早く変更することを推奨します。

- ステップ 5** NAM Web サーバ機能を確認するには、承認されたインターネット ブラウザを起動し、IP アドレスまたはホストおよびドメインの名前をブラウザのアドレス フィールドに入力します。



注

サポートされるブラウザのリストについては、『[NAM software release notes](#)』を参照してください。

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンス Web サーバが正しく設定されている場合、NAM ログイン ウィンドウにアクセスできます。

この時点で、NAM Web サーバにログインできるユーザは、Web サーバをイネーブルにしたときに設定した管理ユーザだけです。

監視対象デバイスの設定

監視対象(または管理対象)デバイスの出力インターフェイスを Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスのモニタリング ポートに接続した後に、データをそのインターフェイスに送信するように監視対象デバイスも設定する必要があります。これを次の2つの手順で実行します。

- [監視対象デバイスのインターフェイスの設定](#)
- 監視対象デバイスのポートを SPAN して、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスを宛先ポートとして使用します。

監視対象デバイスのインターフェイスの設定

監視対象デバイスで、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスへの接続をトランク ポートとして設定しますが、`no negotiate` オプションを使用します。監視対象デバイスで、`no negotiate` オプションを使用すると、スイッチまたはルータはアプライアンスのモニタリング ポートで Dynamic Trunk Protocol (DTP) を実行できません。

次の例で、アプライアンスのモニタリング ポートに接続されたスイッチポートを `Te 7/29` として設定する方法を示します。

監視対象デバイスのコマンド ラインで、次のように CLI コマンドを入力します。

show run interface ethernet 4/37

```
n7k-4# show run int ethernet 4/37
!Command: show running-config interface Ethernet4/37
!Time: Mon Apr 27 09:49:03 2015

version 7.2(0)D1(1)

interface Ethernet4/37
  description "Connected to 2440 data port"
  switchport
  switchport monitor
  mtu 9216
```

SPAN セッションの作成

アプライアンスのモニタリング ポートに接続されたポートへのモニタリング対象デバイスのトラフィックを SPAN するためには SPAN セッションが必要です。モニタリング対象デバイスの CLI または NAM アプライアンス GUI を使用して、SPAN セッションを作成できます。

NAM GUI を使用して SPAN セッションを設定する方法の詳細については、『[Cisco Prime Network Analysis Module Software User Guide](#)』を参照してください。

NAM への Telnet または SSH セッションの開始と終了

この手順では、NAM への Telnet または SSH セッションを開始および終了します。NAM のモニタリングとメンテナンスには、通常、NAM GUI を使用するのですが、この手順はあまり実行することはありません。ただし、NAM GUI にアクセスできない場合は、Telnet または SSH を使用し、NAM CLI からトラブルシューティングを実行しなければならない場合もあります。

お使いの Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスで Telnet または SSH アクセス(次項、[前提条件\(3-11 ページ\)](#)を参照)が正しく設定されていない場合、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスが接続されている管理対象デバイスへの Telnet セッションを開き、次に NAM コンソールセッションを管理対象デバイスから開くことができます。

前提条件

- NAM システム IP アドレスを設定します。オプションで、NAM システム ホスト名を設定します。
- 次の ping テストのいずれかを実行して、NAM ネットワーク接続を確認します。
 - ゲートウェイの背後のホストから NAM システム IP アドレスに ping を実行します。
 - NAM CLI から、NAM システムのデフォルトのゲートウェイに ping を実行します。

Telnet の前提条件

- NAM CLI コマンド `exsession on` を入力します。

SSH の前提条件

- NAM CLI コマンド `exsession on ssh` を入力します。

手順の概要

1. `telnet {ip-address | hostname}`
または
`ssh {ip-address | hostname}`
2. ログインプロンプトで `root` と入力します。
3. パスワードプロンプトで、パスワードを入力します。
または
パスワードを工場出荷時のデフォルト設定から変更していない場合は、ルートパスワードとして `root` を入力します。
4. NAM CLI で実行する必要がある作業を実行します。NAM への Telnet または SSH セッションを終了して Cisco IOS CLI に戻りたい場合は、[ステップ 5](#) および [ステップ 6](#) を実行します。
5. `exit`
6. `logout`

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|--|
| ステップ 1 | <p><code>telnet {ip-address hostname}</code> または <code>ssh {ip-address hostname}</code></p> <p>例: host.domain# telnet 10.20.30.40</p> <p>例: host.domain# ssh 10.20.30.40</p> | <p>Telnet をサポートするホストにログインします。 または リモート ネットワーク デバイスとの暗号化されたセッションを開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> NAM システムの IP アドレスまたは NAM システムのホスト名を使用します。 |
| ステップ 2 | <p>ログインプロンプトで root と入力します。</p> <p>例: login: root</p> | NAM のルート (読み取り/書き込み) レベルにアクセスします。 |
| ステップ 3 | <p>パスワードプロンプトで、パスワードを入力します。 または パスワードを工場出荷時のデフォルト設定から変更していない場合は、ルート パスワードとして root を入力します。</p> <p>例: Password: root</p> | |
| ステップ 4 | NAM CLI で実行する必要がある作業を実行します。NAM への Telnet または SSH セッションを終了して Cisco IOS CLI に戻りたい場合は、 ステップ 5 および ステップ 6 を実行します。 | NAM CLI コマンドの使用について。 |
| ステップ 5 | <p><code>exit</code></p> <p>例: root@localhost (sub-custom-filter-capture)# exit root@localhost#</p> | <p>サブコマンド モードを終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> コマンド モードに戻ります。 |
| ステップ 6 | <p><code>logout</code></p> <p>例: root@localhost# logout</p> <p>Connection closed by foreign host.</p> | NAM システムからログアウトします。 |

例

NAM システムの IP アドレスを使用した NAM への Telnet セッションの開始と終了

```
nam_host> telnet 172.20.105.215
Trying 172.20.105.215 ... Open

Cisco Prime NAM Appliance 2420 ("NAM2420-K9") Console, 6.2
Copyright (c) 1999-2012 by Cisco Systems, Inc.

login: root
Password: <password>
Terminal type: vt100

Cisco Prime NAM Appliance 2420 ("NAM2420-K9") Console, 6.2
Copyright (c) 1999-2012 by Cisco Systems, Inc.

WARNING! Default password has not been changed!
root@nam.company.com#
root@nam.company.com# logout

[Connection to 172.20.105.215 closed by foreign host]
nam_host>
```

NAM システムのホスト名を使用した NAM への SSH セッションの開始と終了

```
host [/home/user] ssh -l root@namappl
root@namappl's password: <password>
Terminal type: vt100

Cisco Prime NAM Appliance 2420 ("NAM2420-K9") Console, 6.2
Copyright (c) 1999-2012 by Cisco Systems, Inc.

WARNING! Default password has not been changed!
root@namappl.company.com#
root@namappl.company.com# logout

Connection to namappl closed.
host [/home/user]
```

アプライアンスのシャットダウンと起動

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスをシャットダウンするには、NAM CLI の **shutdown** コマンドを発行します。

電源ボタンを押すと、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスが再起動します。Cisco IMC の Web インターフェイスからサーバのスイッチをオンにすることもできます。

■ アプライアンスのシャットダウンと起動



外部ストレージのインストールおよび設定

この項では、NAM で使用する外部 iSCSI ストレージの情報を手動で準備する方法について説明します。次の項目について説明します。

- [iSCSI アレイの設定](#)
- [NAM IQN の検索](#)
- [ストレージアレイの接続](#)

iSCSI アレイの設定

ベンダーのユーザーガイドを参照して、iSCSI アレイが適切に設定されていることを確認します。NAM はほとんどのアレイ設定とは独立していますが、一部のアレイ設定はアクセシビリティとパフォーマンスのために重要です。

-
- ステップ 1** アレイで論理ユニット番号 (LUN) を設定するために、通常は、セグメント サイズを設定します。セグメント サイズを大きくすると、書き込み速度を向上させることができます。最大セグメント サイズ (最大 512 KB) を使用するようセグメント サイズを設定します。
- 単一アレイには複数の LUN を設定できます。
- ステップ 2** アレイの LUN と iSCSI 修飾名 (IQN) をマップします。各 IQN は、ホスト (NAM など) がアクセスする LUN の異なるリストを表します。
- ステップ 3** NAM は、すべてのプロトコル間で最大 32 の LUN をサポートします。複数の LUN は 1 つの IQN にマッピングできます。
- ステップ 4** また、NAM では、iSCSI セッションのホスト側を表す IQN も使用されます。ホストの読み書きアクセスのために各 NAM の IQN と LUN をマップする必要があります。これは、セキュリティ上の理由からほとんどのストレージアレイで必要です。特定のホストのみが LUN にアクセスできるようにします。各 NAM には一意の IQN が割り当てられます。この手順は、アクセスが必要な各 NAM とアクセスされる各ターゲット LUN に対して実行します。使用する CLI コマンドの詳細については、[NAM IQN の検索 \(4-2 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 5** NAM 管理ポートに IP パスを設定します。詳細については、[ストレージアレイの接続 \(4-2 ページ\)](#) を参照してください。
-

NAM IQN の検索

NAM IQN を検索するには、**remote-storage iscsi local-iqn** CLI コマンドを使用します。

```
root@nam.domain# remote-storage iscsi local-iqn
```

```
Local iSCSI Qualified Name: iqn.1967-04.com.cisco:NAM2420-K9.00:19:55:07:15:9A
```

ストレージアレイの接続

iSCSI ストレージアレイの設定後に、iSCSI ストレージアレイで NAM 管理ポートに IP パスが設定されていることを確認します([NAM 管理ポート \(LAN 1\) \(1-4 ページ\)](#)を参照)。アレイは、NAM の実行中に接続できます。

一部のアレイには複数のストレージコントローラ モジュールが備わっています。セキュリティ機能のために、通常は、モジュールの所有権を各 LUN にマップする必要があります。

NAM はストレージにログインし、ストレージアレイの IP アドレスと IQN を使用して iSCSI セッションを開始します。ユーザ インターフェイスを使用してストレージアレイを接続するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** NAM Web インターフェイスにログインします。[Data Storage] ページにアクセスするために、[Capture] > [Packet Capture/Decode] > [Data Storage] を選択します。
- ステップ 2** [iSCSI Login] ボタンをクリックし、ターゲット IP と IQN を入力します。
- ストレージテーブルが、新しく検出された LUN で更新されます。
- LUN が現れない場合は、以下のことを行います。
- a. **remote-storage iscsi list** を確認して iSCSI セッションが適切に開始されたことを確認します。

次の例で、iSCSI セッションを確認する方法を示します。

```
root@nam.domain# remote-storage iscsi list
Storage ID: 16
Label:
Status: Ready
  Protocol: ISCSI
  Target IP: 172.20.10.82
Target IQN: iqn.2015-04:celermas.target18
Type: LUN
Model: IET VIRTUAL-DISK
LUN: 4
  Capacity: 24.98GB
  Available: 24.98GB
Active iSCSI Sessions:
tcp: [8] 172.20.10.82:3260,1 iqn.2015-04:celermas.target18
```

LUN 番号(上記の例では LUN 4)を使用すると、同じ IQN の LUN 同士を識別できます。この番号は各 IQN に対して一意であるため、異なる IQN の 2 つの LUN に同じ番号を使用できます。

- b. iSCSI セッションが適切に開始された場合は、ストレージアレイ設定をチェックして以下のことを確認します。
 - LUN がターゲット IQN にマップされている
 - NAM の IQN に LUN に対する読み書きアクセスが割り当てられている

- c. 設定を変更する場合は、iSCSI セッションをログアウトし、再びログインします。ログアウトするには、CLI **remote-storage iscsi logout** を使用します。複数の LUN がユーザ インターフェイスに現れた場合は、いずれかの LUN を選択し、[iSCSI Logout] をクリックできます。ターゲット IQN にマップされたすべての LUN の接続が解除されます。

この時点で、NAM 内から iSCSI 外部ストレージを使用できます。詳細については、『[Cisco Prime Network Analysis Module Software User Guide](#)』を参照してください。

■ ストレージアレイの接続



Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスのメンテナンス

この章では、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスのメンテナンスについて説明します。これらの手順は、電気装置のハードウェア コンポーネントの取り付け、交換、取り外しの経験があり、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスに精通している技術者を対象としています。また、この章は、サイト設計者、ネットワーク管理者、ファシリティ メンテナンス担当者にも役立つ場合があります。

この章の内容は、次のとおりです。

- [一般的なメンテナンスのガイドライン](#)
- [LED の読み取り方](#)
- [アプライアンス コンポーネントの交換](#)
- [Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの取り外しまたは交換](#)

一般的なメンテナンスのガイドライン

一般的なメンテナンス作業の詳細については、『*Cisco UCS Site Preparation Guide*』の「[Preparing the Site](#)」の項を参照してください。

LED の読み取り方

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスには、複数の LED があります。LED は、次の役割を果たします。

- アプライアンスで利用可能な基本電源を示す
- 不具合のあるアダプタ カードまたは診断が失敗したアダプタ カードを示す
- トラフィックがアダプタ カードを経由してアプライアンスに流れていることを示す

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの前面パネルにある LED および対応するアダプタ カードは、アプライアンスおよびアダプタのパフォーマンスと動作の判断に役立ちます。

ここでは、LED とボタンの位置と意味について説明します。内容は次のとおりです。

- [Cisco Prime NAM 2400 の LED](#)
- [NIC LED の読み取り方](#)
- [AC 電源装置の LED の読み取り方](#)

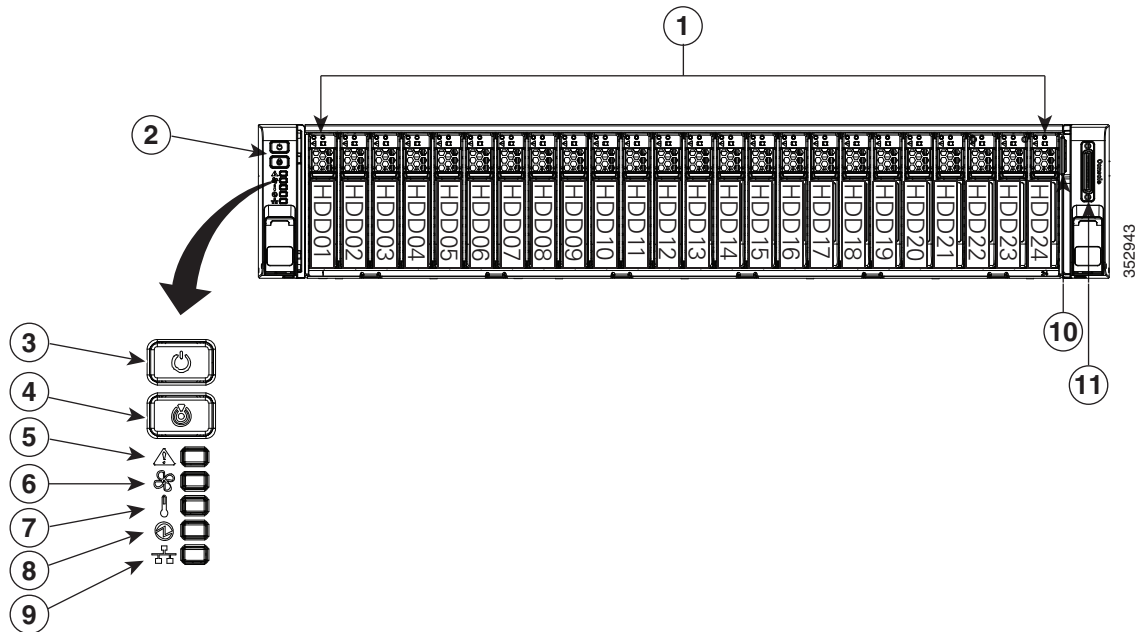
Cisco Prime NAM 2400 の LED

ここでは、Cisco Prime NAM 2400 アプライアンスの LED の位置と意味について説明します。

CiscoPrimeNAM 2400 の前面パネル LED の読み取り方

図 5-1 に、Cisco Prime NAM 2400 の前面パネルの LED を示します。下の表は、LED の状態の定義です。

図 5-1 Cisco Prime NAM 2400 の前面パネルの LED



| | | | |
|---|-------------------------------------|----|---|
| 1 | ドライブ ベイ 1~24(最大 24 台の 2.5 インチ ドライブ) | 7 | 温度ステータス LED |
| 2 | 操作パネル ボタンおよび LED | 8 | 電源装置ステータス LED |
| 3 | 電源ボタン/LED | 9 | ネットワーク リンク アクティビティ LED |
| 4 | ユニット識別ボタン/LED | 10 | 引き抜きアセット タグ |
| 5 | システム ステータス LED | 11 | KVM コネクタ (USB 2.0 2 個、VGA 1 個、シリアルコネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルで使用) |
| 6 | ファン ステータス LED | | |

表 5-1 Cisco Prime NAM 2420 の前面パネルの LED

| LED 名 | 状態 |
|-------------------|---|
| 電源ボタン/電源ステータス LED | <ul style="list-style-type: none"> 消灯: アプライアンスに AC 電力が供給されていません。 オレンジ: アプライアンスはスタンバイ電源モードです。CIMC と一部のマザーボード機能にだけ電力が供給されています。 緑色: アプライアンスはメイン電源モードです。電力は、すべてのアプライアンス コンポーネントに供給されています。 |
| ID | <ul style="list-style-type: none"> 消灯: ID LED は使用されていません。 青: ID LED がアクティブです。 |
| NAM ステータス | <ul style="list-style-type: none"> 緑: アプライアンスは正常動作状態で稼働しています。 緑の点滅: アプライアンスはシステムの初期化とメモリ チェックを行っています。 オレンジの点灯: アプライアンスは縮退運転状態にあります。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> 電源装置の冗長性が失われている。 CPU が一致しない。 少なくとも 1 つの CPU に障害が発生している。 少なくとも 1 つの DIMM に障害が発生している。 RAID 構成内の少なくとも 1 台のドライブに障害が発生している。 オレンジの点滅: アプライアンスは重大な障害発生状態にあります。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> ブートに失敗した。 修復不能な CPU またはバス エラーが検出された。 アプライアンスが過熱状態にある。 |
| ファン ステータス | <ul style="list-style-type: none"> 緑: すべてのファン モジュールが正常に動作中です。 オレンジの点灯: 1 つのファン モジュールに障害が発生しています。 オレンジの点滅: 重大な障害。2 つ以上のファン モジュールに障害が発生しています。 |
| 温度ステータス | <ul style="list-style-type: none"> 緑: アプライアンスは正常温度で稼働中です。 オレンジの点灯: 1 つ以上の温度センサーが警告しきい値を超過しています。 オレンジの点滅: 1 つ以上の温度センサーが重大しきい値を超過しています。 |
| 電源装置ステータス | <ul style="list-style-type: none"> 緑: すべての電源装置が正常に動作中です。 オレンジの点灯: 1 台以上の電源装置が縮退運転状態にあります。 オレンジの点滅: 1 台以上の電源装置が重大な障害発生状態にあります。 |

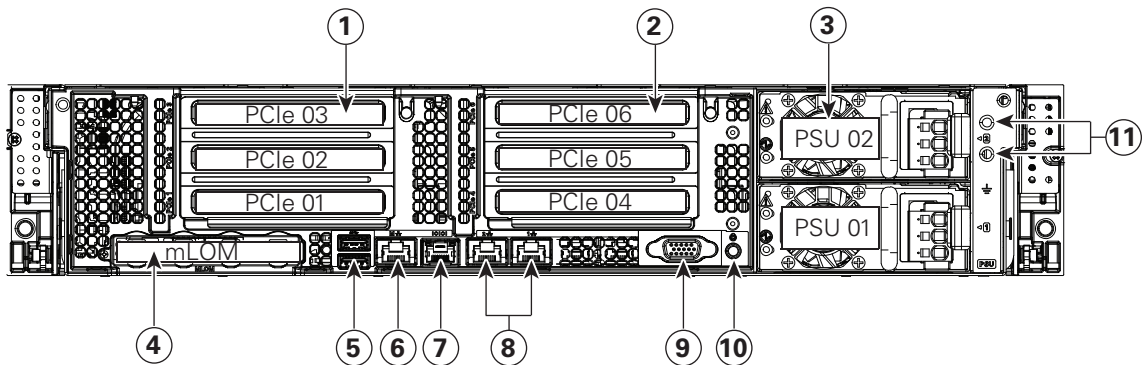
表 5-1 Cisco Prime NAM 2420 の前面パネルの LED (続き)

| LED 名 | 状態 |
|--------------------|---|
| ネットワーク リンク アクティビティ | <ul style="list-style-type: none"> 消灯:イーサネット リンクがアイドル状態です。 緑:1つ以上のイーサネット LOM ポートでリンクがアクティブになっていますが、アクティビティは存在しません。 緑の点滅:1つ以上のイーサネット LOM ポートでリンクがアクティブになっていて、アクティビティが存在します。 |
| ハード ドライブ障害 | <ul style="list-style-type: none"> 消灯:ハード ドライブは正常に動作中です。 オレンジ:このハード ドライブに障害が発生しています。 オレンジの点滅:デバイスの再構成中です。 |
| ハード ドライブ アクティビティ | <ul style="list-style-type: none"> 消灯:ハード ドライブ スレッドにハード ドライブが存在しません(アクセスなし、障害なし)。 緑:ハード ドライブの準備が完了しています。 緑の点滅:ハード ドライブはデータの読み取り中または書き込み中です。 |

CiscoPrimeNAM 2400 の背面パネルの LED の読み取り方

図 5-2 に、Cisco Prime NAM 2400 の背面パネルの LED を示します。表 5-2 には LED の状態が定義されています。

図 5-2 Cisco Prime NAM 2400 の背面パネルの LED



| | | | |
|---|---|----|--|
| 1 | PCIe ライザー 1(スロット 1、2、3*) *スロット 3 は一部のバージョンに存在しません。 | 7 | シリアル コネクタ (RJ-45) |
| 2 | PCIe ライザー 2(スロット 4、5、6) | 8 | 内蔵(マザーボード上) Intel i350 GbE イーサネット コントローラ ポート X 2 (LAN1、LAN2) |
| 3 | 電源装置(図に DC 電源装置を表示) | 9 | VGA ビデオ ポート (DB-15 コネクタ) |
| 4 | モジュラ LAN-on-motherboard (mLOM) カード スロット | 10 | 背面ユニット 識別ボタン/LED |
| 5 | USB 3.0 ポート (2 個) | 11 | アース ラグの穴(DC 電源装置の場合) |
| 6 | 1 Gb 専用管理ポート | | |

表 5-2 Cisco Prime NAM 2420 の背面パネルの LED

| LED 名 | 状態 |
|-------------------------|---|
| 電源装置障害 | <ul style="list-style-type: none"> 消灯: 電源装置は正常に動作中です。 オレンジの点滅: イベント警告しきい値に達しましたが、電源装置は動作し続けています。 オレンジの点灯: 重大障害しきい値に達し、電源装置がシャットダウンしています(たとえば、ファンの障害や過熱状態など)。 |
| 電源装置 AC OK | <ul style="list-style-type: none"> 消灯: 電源装置に AC 電力が供給されていません。 緑の点滅: AC 電力の供給は OK、DC 出力は使用不可。 緑の点灯: AC 電力供給も、DC 出力も OK。 |
| 1 Gb イーサネット専用管理リンク速度 | <ul style="list-style-type: none"> 消灯: リンク速度は 10 Mbps です。 オレンジ: リンク速度は 100 Mbps です。 緑: リンク速度は 1 Gbps です。 |
| 1 Gb イーサネット専用管理リンクステータス | <ul style="list-style-type: none"> 消灯: リンクが確立されていません。 緑: リンクはアクティブです。 緑の点滅: アクティブなリンクにトラフィックが存在します。 |
| 1 GB イーサネット リンク速度 | <ul style="list-style-type: none"> 消灯: リンク速度は 10 Mbps です。 オレンジ: リンク速度は 100 Mbps です。 緑: リンク速度は 1 Gbps です。 |
| 1 GB イーサネット リンクステータス | <ul style="list-style-type: none"> 消灯: リンクが確立されていません。 緑: リンクはアクティブです。 緑の点滅: アクティブなリンクにトラフィックが存在します。 |
| ID | <ul style="list-style-type: none"> 消灯: ID LED は使用されていません。 青: ID LED がアクティブです。 |

NIC LED の読み取り方

図 5-3 に、NAM アプライアンスの背面パネルに配置された NIC 1 LED を示します。これらの LED は、NIC ポートの接続アクティビティと速度を示します。表 5-3 で、各 LED の状態に関連付けられているアクティビティと接続速度について説明します。

図 5-3 NIC 1 LED

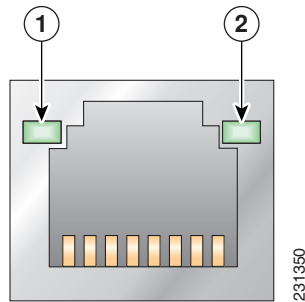


表 5-3 NIC 1 LED の説明

| 場所 | LED | 色 | 状態 | 説明 |
|----|-----|------|----|--------------------------------|
| 1 | 左 | | 消灯 | ネットワークに接続されていません |
| | | グリーン | 点灯 | ネットワークに接続されています |
| | | グリーン | 点滅 | 送信アクティビティと受信アクティビティ |
| 2 | 権限 | | 消灯 | 10 Mb/s 接続(LED が点灯または点滅している場合) |
| | | グリーン | 点灯 | 100 Mb/s 接続 |
| | | オレンジ | 点灯 | 1000 Mb/s(または 1 Gb/s)接続 |

AC 電源装置の LED の読み取り方

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの背面パネルには、AC 電源装置の電源ステータスを示す LED があります(図 5-2 の 2 番を参照)。表 5-4 では、AC 電源装置 LED に関連付けられた電源ステータスについて説明します。

表 5-4 AC 電源装置 LED

| LED | 色 | 状態 | 説明 |
|-----------------|------|----|---|
| AC 電源装置入力コネクタの下 | | 消灯 | いずれの電源にも AC 入力電力が供給されていません。 |
| | グリーン | 点滅 | AC 電源が電源装置に適用されており、スタンバイ電圧が使用可能です。 |
| | グリーン | 点灯 | すべての電源が使用可能です。 |
| | オレンジ | 点滅 | AC 電源装置は、過電流または過熱状態、またはファン速度低下などにより、警告が発生しています。 |
| | オレンジ | 点灯 | AC 電源装置は、ヒューズが飛んだ、高い過電流または過熱状態である、またはファンが故障したため、シャットダウンに失敗しました。 |

アプライアンス コンポーネントの交換

表 5-5 に、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの現場交換可能ユニット (FRU) を示します。

表 5-5 Cisco Prime NAM 2400 アプライアンス FRU

| 説明 | 注意 |
|-------------------|---|
| SFP、SFP+ | トランシーバ モジュールの交換 (5-7 ページ) を参照してください。 |
| ハードディスク ドライブ、1 TB | ハードディスク ドライブの取り外しおよび交換 (5-7 ページ) を参照してください。 |
| AC 冗長電源 | 電源装置の取り付けおよび交換 (5-8 ページ) を参照してください。 |

トランシーバ モジュールの交換

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスで SFP または SFP+ トランシーバ モジュールを交換するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 取り付ける予定の新しいトランシーバ モジュールを確認し、保護パッケージから取り出し、破損の兆候がないかどうかを調べます。
- ステップ 2** CiscoPrimeNAM の背面パネルで交換するモジュールを決定します。
- ステップ 3** 交換するモジュールから光ファイバ ケーブルを取り外します。
- ステップ 4** 指でラッチを引いて下ろし、モジュールを固定された位置から外します (図 2-2 を参照)。
- ステップ 5** ラッチを使用して、アプライアンスから SFP+ を引き出し、安全な場所に置きます。
- ステップ 6** 新しい SFP+ をスロットに挿入し、抵抗を感じるまで中にスライドさせて、カチッと音がするまで SFP+ をソケットに強く押し込みます。
- ステップ 7** 指でラッチを引いて上げ、SFP+ をスロットに固定します (図 2-3 を参照)。
- ステップ 8** 光ファイバ ケーブルを交換します。

ハードディスク ドライブの取り外しおよび交換

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンス でのハードディスク ドライブの交換の詳細については、次の UCS のインストール ガイドを参照してください。

| アプライアンス モデル | 参照先 |
|-------------|---|
| 2420 | 『Cisco UCS C220 Server Installation and Service Guide』の「 Replacing Hard Drives or Solid State Drives 」の項。 |
| 2440 | 『Cisco UCS C240 Server Installation and Service Guide』の「 Replacing Hard Drives or Solid State Drives 」の項。 |

電源装置の取り付けおよび交換

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンス での電源装置の交換の詳細については、次の UCS インストール ガイドを参照してください。

| アプライアンス モデル | 参照先 |
|-------------|--|
| 2420 | 『Cisco UCS C240 Server Installation and Service Guide』の「 Replacing Power Supplies 」の項。 |
| 2440 | 『Cisco UCS C240 Server Installation and Service Guide』の「 Replacing Power Supplies 」の項。 |

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの取り外しまたは交換

電源をオフにする場合は、常に NAM CLI コマンド **shutdown** を使用して NAM アプリケーションをシャットダウンしてください。



警告

作業を開始する前に装置の電源をオフにします。ステートメント 237



警告

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。ステートメント 1040

ネットワークから Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスを取り外すには、電源を切り、電源コードおよびネットワーク ケーブルを外し、ラックからアプライアンスを物理的に取り外します。

アプライアンスはネットワーク上で定期的に通信しているため、ネットワークは、アプライアンスが応答しなくなったことを検出すると、アプライアンスへの要求の送信を停止します。この変化はユーザに対して透過的です。別のアプライアンスがネットワークに接続されている場合、ネットワークは別のアプライアンスに要求を送信し続けます。

アプライアンスを交換するには、ネットワークからアプライアンスを取り外します。次に、新しいアプライアンスを取り付け、取り外したアプライアンスに使用していたものと同じ設定パラメータを使用して設定します。



アップグレードとリカバリの手順

シスコは、不定期に Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスにダウンロードおよびインストールできる、NAM ソフトウェアへのアップグレードを提供しています。また、ダウンロード可能なソフトウェアを使用して、壊滅的な障害が発生した場合にアプライアンス ソフトウェアを復元することもできます。

アプライアンス ソフトウェアをアップグレードまたは復元した後、NAM アプライアンス設定をバックアップした場合、その設定を復元し、大きな遅延がなく設定を復元してネットワーク モニタリングを再開することができます。

この章の内容は、次のとおりです。

- **設定のバックアップ**

NAM アプライアンス設定への変更の完了後、コマンドライン インターフェイスを使用して NAM 設定をアーカイブ サーバにアップロードします。

- **設定の復元**

コマンドライン インターフェイスを使用して、以前の NAM 設定を復元します。

- **ソフトウェアのアップグレード**

現在の NAM ソフトウェアのバージョンをダウンロードし、単一の CLI コマンドを使用してソフトウェア アップグレードを実行します。

- **リカバリ インストール**

ヘルパー ユーティリティを使用して、リカバリ インストールを実行します。

設定のバックアップ

アップグレード処理を開始する前に、現在の NAM 設定を完全にバックアップすることを推奨します。



注

バックアップ設定ファイルがあると、ハードディスクドライブの再フォーマットまたは再パーティションが必要なハードディスク障害の影響を NAM アプリケーションが受ける場合、時間およびフラストレーションを節減できます。この手順では、キャプチャ ファイルとモニタリング データをバックアップしません。

現在の設定をバックアップするには、次のように NAM CLI **config upload** コマンドを使用します。

```
config upload ftp://user:password@server//path backup_file_name
```

次に例を示します。

```
config upload ftp://admin:secret@172.20.104.11//archive/nam_config
```

NAM 6.2 では、ftp の他に、sftp、scp、https などのセキュアな転送プロトコルもサポートしています。**config upload ?** を実行すると、最新のヘルプ情報と例を取得できます。

config upload コマンドは、NAM 実行コンフィギュレーションのコピーを指定した宛先に送信します。設定のコピーは、**NAM_host-nam2420-6.2-1.config** のように末尾のサフィックス **.config** を持つバックアップ設定ファイルに保存されます。宛先アドレスは、有効なサーバ名、読み取りおよび書き込み権限を持つディレクトリパスでなければなりません。

設定の復元

FTP または HTTP を使用してアクセスできるリモート サーバの場所に NAM 設定ファイルを保存した場合(設定のバックアップ(6-1 ページ)を参照)、システムのリカバリまたはアップグレード後に NAM 設定ファイルを復元できます。ただし、これはオプションです。

config network コマンドを使用して、次のように以前の NAM 設定を復元します。

```
config network ftp://user:password@server//path backup_file_name
```

次に例を示します。

```
config network  
ftp://admin:secret@172.20.104.11//archive/nam_config/NAM_host-nam2420-6.2-1.config  
or NAM_host-nam2420.6.0.2.namconf.tar
```


NAM 6.2 では、ftp の他に、sftp、scp、https などのセキュアな転送プロトコルもサポートしています。**config upload ?** を実行すると、最新のヘルプ情報と例を取得できます。

ソフトウェアのアップグレード

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスのソフトウェアをアップグレードするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** Cisco.com の次の URL にある Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの NAM アプリケーション ソフトウェアをダウンロードします。
<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/nam-appl>
 - ステップ 2** **nam-2420.x-x-x.bin.gz** のように **nam-24xx** で始まるファイルを探します(**x-x-x** は NAM ソフトウェアのリリース番号です)。ファイルは、NAM2400 アプリケーション イメージとして記述されます。
 - ステップ 3** NAM アプリケーション ソフトウェアを、NAM 設定をアーカイブしたのと同じサーバに格納します。
 - ステップ 4** 表 6-1 に示すアップグレード コマンドのリストからコマンドを必要に応じて使用します。

表 6-1 一般的なアップグレード コマンド

| コンフィギュレーション モード | コマンド ¹ | 目的 |
|-----------------|--|--|
| host.domain# | upgrade ftp://user:password@server//path/ filename | アップグレード アプリケーション イメージの場所へのパスとともにコマンドを入力します。 |
| | upgrade ftp://user:password@server//path/ filename reformat | 既存のインストールを再フォーマットします。 NAM 6.2 では、ftp の他に、sftp、scp、https などのセキュアな転送プロトコルもサポートしています。 config upload ? を実行すると、最新のヘルプ情報と例を取得できます。 |
| | |  注意 すべての設定およびデータが失われます。 |

1. FTP の代わりに HTTP も使用できます。

リカバリ インストール

アプリケーションが深刻なイベントによる影響を受け、NAM アプリケーション ソフトウェアを起動できなくなった場合は、ヘルパー ユーティリティを使用して NAM アプリケーションを Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスに再インストールできます。

ヘルパー ユーティリティにアクセスするには、Cisco Image Management Controller (CIMC、NAM 管理ポートではありません) を使用して、NAM リカバリ ISO ファイルを仮想メディア CD にマップします。



注

このタスクを実行するには、user または admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

- ステップ 1** CCO(他のすべての NAM イメージがあります)から ISO ファイルをダウンロードします。
- ステップ 2** Web ブラウザを使用して CIMC Web インターフェイスにログインします(デフォルト: admin/password)。
CIMC の設定の詳細については、『[Set up CIMC for the UCS C-Series Server](#)』を参照してください。
- ステップ 3** [Launch KVM Console] をクリックします (Java が必要です)。
Java Launcher ファイル(.jnlp)がダウンロードされます。
- ステップ 4** Java Web Start Launcher を使用して Java Launcher ファイルを開きます。
- ステップ 5** Java アプレットで、[Virtual Media] タブをクリックします。

- ステップ 6** サーバで仮想メディアの暗号化セッションを受け入れる場合は、[Accept this session] をクリックします。
- ステップ 7** [Apply] をクリックします。
[Virtual Media] メニューに仮想デバイスが表示されます。
- ステップ 8** [Virtual Media] > [Map CD/DVD] を選択します。
- ステップ 9** [Browse] をクリックし、ISO ファイルを選択します。
- ステップ 10** [Map] をオンにします。
- ステップ 11** CIMC Web インターフェイスで、[Power Cycle Server] をクリックします。
- ステップ 12** マップされた ISO イメージからアプライアンスが起動し、[Helper Utility] メニューで停止します。
- ステップ 13** 次のオプションのいずれかを選択します。
- a. ISO にバンドルされているイメージをインストールするには、[Option 3] を選択します。
 - b. ネットワークから新しいイメージをプルダウンするには、[Option 1] を選択します。
-

ヘルパー ユーティリティのオプションの詳細については、[付録 E「ヘルパー ユーティリティ」](#)を参照してください。



トラブルシューティング

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスは、出荷前に入念にテストされています。問題が発生した場合は、この付録を使用して問題を特定するか、問題の原因であるアプライアンスの使用を停止してください。



注

この付録の手順では、最初の Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの起動をトラブルシューティングしていること、およびアプライアンスが出荷時の設定になっていることが想定されています。コンポーネントの取り外しまたは取り付けを行った、またはデフォルト設定を変更した場合は、この付録の推奨事項は適用されないことがあります。

この付録では、アプライアンスで発生する可能性のあるすべての問題について説明するのではなく、お客様で頻繁に確認されている問題を中心に説明します。

この付録の内容は、次のとおりです。

- [トラブルシューティングのガイドライン](#)
- [アプライアンスに関する問題のトラブルシューティング](#)

トラブルシューティングのガイドライン

初期システム起動時、次の事項を確認します。

- 外部電源コードが接続されており、適切な電源が供給されている。
- アプライアンスのファンとブロワーが稼働している。
- アプライアンスのソフトウェアが正常に起動している。
- アダプタ カード (インストールされている場合) がスロット内に正しく設置されており、それぞれが (アプライアンス ソフトウェアによって) 問題なく初期化されている。

以上の条件がそれぞれ満たされており、ハードウェアの設置が完了している場合は、基本設定に移ります (適切な設定手順については、アプライアンスに付属のソフトウェアのインストール ガイドまたはユーザ ガイドを参照してください)。

問題を特定できない場合は、手順についてカスタマー サービス担当者にお問い合わせください。テクニカル サポートについては、アプライアンスに付属の『[Cisco Information Packet](#)』マニュアルを参照してください。ご連絡の前に、次の情報を揃えておいてください。

- アプライアンスのシャーシタイプ (*Cisco Product Identification* ツールを参照) およびシリアル番号 (シリアル番号の場所 (A-5 ページ)) を参照
- 保守契約または保証書 (『*Cisco Information Packet*』を参照)。
- ソフトウェアのタイプおよびバージョン番号 (該当する場合)。
- 新規アプライアンスの入手日。
- 生じている問題の簡単な説明と、問題の特定と解決の手順。



注

初期インストール後に Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスで行ったアップグレードまたはメンテナンスの情報をカスタマー サービスの担当者に必ず伝えてください (サイト ログの情報については、付録 D「[サイト ログのサンプルおよび設置前の作業のチェックリスト](#)」を参照してください)。

アプライアンスに関する問題のトラブルシューティング

問題解決のキーは、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの動作と実行されるべき動作とを比較し、問題を特定の箇所に絞り込むことです。

つまり、トラブルシューティングの際は、症状を明確にし、症状を引き起こしうる問題すべてを洗い出してから、症状が消えるまで、その潜在的な問題を (最も起こりやすいものから最も起こりにくいものまで) それぞれ体系的に排除します。



注

アプライアンスの前面パネルの LED によって、アプライアンスの性能および動作を判別できます。これらの LED の詳細については、「[LED の読み取り方](#)」セクション (5-1 ページ) を参照してください。

問題解決の際は、まず、次に示すアプライアンスのサブシステムを確認してください。

- 電源および冷却システム: 外部電源、AC 電源ケーブルまたは DC 電源ワイヤ、およびアプライアンス ファンを確認します。また、不十分な通気、換気、または環境条件も確認します。
- アダプタ カード: アダプタ カードの LED を確認することで、障害を検知できます。
- ケーブル: アプライアンスをネットワークに接続している外部ケーブルがすべてしっかり装着されているかを確認します。

表 A-1 では、アプライアンス サブシステムの問題のトラブルシューティングを紹介します。

表 A-1 トラブルシューティングのヒント

| 問題の説明 | 確認項目 | 対処方法 |
|-------------------------------|---|--|
| 前面パネルの LED が点灯しない。 | AC 電源コードが正しく接続されているかどうか。 | それでも電源 LED が消灯している場合は、問題は電源装置の障害であると考えられます。 |
| アプライアンスがオンになっても、すぐにシャットダウンする。 | <ul style="list-style-type: none"> 環境によって引き起こされるシャットダウンの可能性を確認します(「LED の読み取り方」セクション(5-1 ページ)を参照)。 ファンを確認します。ファンが動作していない場合、アプライアンスは過熱されて自動的にシャットダウンします。 アプライアンスの吸気口と排気口に何も無いことを確認してください。 | <ul style="list-style-type: none"> ファンが動作していないのであれば、ファンの電源接続を確認します。 環境に関連する設置場所の要件については、付録 C「技術仕様」を参照してください。 |
| アプライアンスの一部は起動しても、LED が点灯しない。 | アプライアンスの前面パネルにある電源 LED を確認して電源障害の有無を確認します。LED が点灯している場合は、電源は機能しています。 | LED が点灯していない場合は、『Cisco Information Packet』で保証情報を確認するか、カスタマーサービス担当者にお問い合わせください。 |
| 電源がシャットダウンしている、またはラッチがオフである。 | ファンに障害がないか、室内の空調の障害がないか、または冷却ベントへの通気がブロックされているかを確認します。 | 問題は手順を追って解決します。動作環境条件の詳細については、『User Guide』を参照してください。 |
| アプライアンスがアダプタカードを認識しない。 | <ul style="list-style-type: none"> アダプタカードがスロットにきちんと装着されているかどうかを確認します。 アダプタカードの LED を確認する。各アダプタカードにはそれぞれ固有の LED のセットが当てられています。これらの LED の詳細については、「LED の読み取り方」セクション(5-1 ページ)を参照してください。 使用しているソフトウェアがアダプタカードをサポートするバージョンかどうかを確認します。 | 詳細については、アダプタカード付属の資料を参照してください。 |

表 A-1 トラブルシューティングのヒント (続き)

| 問題の説明 (続き) | 確認項目 | 対処方法 |
|--|--|---|
| アダプタカードは認識されるが、インターフェイスポートが初期化されない。 | <ul style="list-style-type: none"> アダプタカードがスロットにきちんと装着されているかどうかを確認します。 外部ケーブルの接続を確認します。 使用しているソフトウェアがアダプタカードをサポートするバージョンかどうかを確認します。アダプタカード付属の資料を参照してください。 | 詳細については、アダプタカード付属の資料を参照してください。 |
| アプライアンスが正常に起動しない、継続的または断続的に再起動する | <ul style="list-style-type: none"> アダプタカードがスロットにきちんと装着されているかどうかを確認します。 アプライアンスシャーシまたはアプリケーションソフトウェアを確認します。 | <ul style="list-style-type: none"> 詳細については、アダプタカード付属の資料を参照してください。 保証情報については、アプライアンスに付属の『Cisco Information Packet』マニュアルを参照するか、カスタマーサービス担当者にお問い合わせください。 |
| ターミナルでコンソールポートを使用しており、アプライアンスが起動してもコンソール画面がフリーズする。 | <ul style="list-style-type: none"> 外部コンソールの接続を確認します。 ターミナルのパラメータが次のとおり設定されていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> (a)ターミナルとアプライアンスのデータレートが同じに設定されている(デフォルトは 9600 bps) (b)8 データビット (c)パリティ生成またはパリティチェックを実行していない (d)1 ストップビット | |
| アプライアンスでは、アダプタカードが取り除かれた場合にだけ、電源が投入され、起動します。 | アダプタカードを確認してください。アダプタカードに問題がある可能性があります。アダプタカード付属の資料を参照してください。 | 保証情報については、アプライアンス付属の『Cisco Information Packet』マニュアルを確認するか、カスタマーサービス担当者にお問い合わせください。 |

表 A-1 トラブルシューティングのヒント (続き)

| 問題の説明 (続き) | 確認項目 | 対処方法 |
|---|---|--|
| 特定のケーブルを取り外した場合に限り、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンス の電源が投入され、起動する。 | ケーブルに問題がある可能性があります。 | 保証情報については、アプライアンスに付属の『Cisco Information Packet』マニュアルを参照するか、カスタマー サービス担当者にお問い合わせください。 |
| CiscoPrimeNAM で製品シリアル ID が見つからない。 | <p>テクニカル ポートにオンラインまたは電話でお問い合わせいただく前に、Cisco Product Identification ツール を使用して、製品のシリアル番号をご確認ください。</p> <p>このツールには、3 つの検索オプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品 ID またはモデル名による検索 シスコ モデルの参照 show コマンドで出力をコピー アンド ペーストして製品を特定 | Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスのシリアル番号の場所については、 シリアル番号の場所 (A-5 ページ) を参照してください。 |

シリアル番号の場所

アプライアンスのシリアル番号は、前面パネルの内側の引き出し資産タグに印刷されています。[図 1-1](#) を参照してください。



安全に関する注意事項

アプライアンスを設置する前に、この付録の安全に関する注意事項を参照して、怪我を負ったり、機器を壊したりしないようにしてください。

また、アプライアンスを交換、設定、または保守する前に、『*Regulatory Compliance and Safety Information*』に記載されている安全上の警告を参照してください。

- [一般的な注意事項 \(B-1 ページ\)](#)
- [機器を扱う場合の注意 \(B-2 ページ\)](#)
- [電気製品を扱う場合の注意 \(B-3 ページ\)](#)
- [静電破壊の防止 \(B-4 ページ\)](#)
- [持ち上げ時の注意事項 \(B-5 ページ\)](#)

一般的な注意事項

アプライアンスの使用および取り扱いには、次の一般的な注意事項を守ってください。

- サービスに関するマーキングに従ってください。アプライアンス マニュアルで説明されている場合を除き、シスコ製品の保守を行わないでください。稲妻が描かれた三角形の印がついたカバーを開閉するときは、感電のおそれがあります。これらのコンパートメント内のコンポーネントの保守は、許可された保守技術者だけが行う必要があります。
- 次の条件のいずれかに該当する場合は、製品を電源コンセントから外し、部品を交換するか、お客様の認定サービス プロバイダーにお問い合わせください。
 - 電源ケーブル、延長コード、またはプラグが損傷している。
 - 何かの物体が製品に入り込んだ。
 - 製品に水がかかった。
 - 製品が落下または損傷した。
 - 操作指示に従っているのに、製品が正しく動作しない。
- アプライアンスをラジエータや熱源の近くに置かないでください。また、通気口をふさがないでください。
- アプライアンスの上に食べ物や液体をこぼさないでください。また、水気のある環境で本製品を操作しないでください。
- アプライアンスの開口部に物を押し込まないでください。内部コンポーネントがショートして火災や感電の原因となる可能性があります。

機器を扱う場合の注意

- 製品は、シスコによって承認されている他の機器だけで使用してください。
- カバーを取り外すか、内部コンポーネントに触れる前に、製品を冷却できます。
- 正しい外部電源を使用してください。製品は、電力定格ラベルに記載されている種類の電源だけを使用して稼働させてください。必要な電源の種類が不明な場合は、サービス担当者または現地の電力会社にお問い合わせください。
- 認定された電源ケーブルだけを使用してください。ご使用のアプライアンス用、またはご使用のアプライアンス向けの AC 電源オプション用の電源コードが付属していない場合は、国で使用が承認された電源コードを購入してください。電源コードが、製品と、製品の電気定格ラベルに記載された電圧および電流に適合することを確認してください。電源コードの電圧および定格電流は、製品に記載された定格を上回るものでなければなりません。
- 感電事故を予防するため、アプライアンスおよび電源ケーブルは、適正に接地されたコンセントに接続してください。これらのケーブルには適切な接地を可能にする 3 極プラグが装着されています。アダプタ プラグを使用したり、ケーブルから接地極を外したりしないでください。延長コードを使用する必要がある場合は、適切に接地されたプラグが装着された 3 線コードを使用してください。
- 延長コードとテーブルタップの定格を遵守してください。延長コードまたは電源ストリップに差し込まれているすべての製品の定格アンペアの合計が、延長コードまたは電源ストリップの定格アンペア制限の 80% を超えないことを確認してください。
- アプライアンス、またはアプライアンス用に販売されている電圧変換器やキットを、製品とともに使用しないでください。
- 一時的に急激に起こる電源電圧の上昇または下降からアプライアンスを保護するには、サージ抑制装置、パワー コンディショナ、または無停電電源装置 (UPS) を使用してください。
- ケーブルと電源コードは慎重に配置してください。ケーブルと電源コードは、人に踏まれたり、それによって人が躓くことがないように配線して差し込んでください。また、アプライアンスのケーブルまたは電源ケーブルの上に物を置かないように注意してください。
- 電源ケーブルとプラグを改造しないでください。場所を変更する場合は、ライセンスを待つ電気技術者または電力会社にお問い合わせください。現地または該当国の配線規定に必ず従ってください。

機器を扱う場合の注意

安全を確保して、機器を保護するため、次の注意事項に従ってください。ただし、このリストには、生じる可能性のある危険な状況がすべて網羅されているわけではありません。注意を怠らないでください。



警告

設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004

- アプライアンスを移動する前に、必ずすべての電源コードおよびインターフェイス ケーブルを外してください。
- 回路の電源が切断されていると思い込まないで、必ず確認してください。
- 設置作業前および作業後は、アプライアンスのシャーシの設置場所を整理し、埃のない状態に保ってください。
- 工具とアセンブリ コンポーネントは、通行の邪魔にならない場所に保管してください。
- 危険を伴う作業は、1 人では行わないでください。

- 人身事故や装置障害を引き起こす可能性のある作業は行わないでください。
- ゆったりとした衣服は身につけず、アプライアンスのシャーシに引っかかることがないようにしてください。
- 目を負傷する可能性がある状況で作業する場合は、保護眼鏡を着用してください。

電気製品を扱う場合の注意

| | |
|---|---|
|  警告 | <p>この装置は、立ち入りが制限された場所への設置を前提としています。立ち入りが制限された場所とは、特殊な工具、錠と鍵、またはその他のセキュリティ手段を使用しないと入れない場所を意味します。ステートメント 1017</p> |
|  警告 | <p>感電を防ぐために、安全超低電圧 (SELV) 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路が、WAN ポートには TNV 回路が組み込まれています。一部の LAN ポートおよび WAN ポートは RJ-45 コネクタを使用しています。ケーブルを接続する際は、注意してください。ステートメント 1021</p> |
|  警告 | <p>電源コードが接続されている場合は、電源に触れないでください。電源スイッチを備えたシステムの場合、電源スイッチがオフになっていても、電源コードが接続されていれば、電源装置内部に入力電圧がかかっています。電源スイッチのないシステムの場合、電源コードが接続されていれば、電源装置内部に入力電圧がかかっています。ステートメント 4</p> |
|  警告 | <p>電力システムに接続された装置で作業する場合は、事前に、指輪、ネックレス、腕時計などの装身具を外してください。金属は電源やアースに接触すると、過熱して重度のやけどを引き起こしたり、金属類が端子に焼き付いたりすることがあります。ステートメント 43</p> |
|  警告 | <p>シャーシの作業や電源モジュール周辺の作業を行う前に、AC 装置の電源コードを外し、DC 装置の回路ブレーカーの電源を切ってください。ステートメント 12</p> |
|  警告 | <p>雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行ったりしないでください。ステートメント 1001</p> |
|  警告 | <p>この装置は、アースさせる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。ステートメント 1024</p> |
|  警告 | <p>装置を設置または交換する際は、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。ステートメント 1046</p> |

電気機器を取り扱う際には、次の注意事項に従ってください。

- 部屋の緊急電源遮断スイッチを確認します。これにより、電気事故が発生した場合に、ただちに電源をオフにすることができます。
- 次の作業を行う前に、すべての電源をオフにしてください。
 - 電源付近で作業する場合
 - アプライアンスの取り付けまたは取り外しを行う場合
 - ほとんどのハードウェア アップグレードを行う場合
- 故障していると思われる機器は取り付けないでください。
- 床が濡れていないか、アースされていない電源延長コードや保護アースの不備などがないかどうか、作業場所の安全を十分に確認してください。
- 回路の電源が切断されていると思い込まないで、必ず確認してください。
- 人身事故や装置障害を引き起こす可能性のある作業は行わないでください。
- 危険を伴う作業は、1 人では行わないでください。
- 電気事故が発生した場合は、次の手順に従ってください。
 - 十分注意して、自分自身が被害者にならないようにしてください。
 - アプライアンスの電源を切ってください。
 - 可能であれば、医療を受けるために別の人を呼びます。それができないときは、被害者の状態を判別してから助けを呼んでください。
 - 被害者が人工呼吸、心臓マッサージ、またはその他の治療を必要としているかどうか判断して、適切な処置を施してください。

さらに、電源は切断されているが、電話回線またはネットワーク ケーブルにはまだ接続されている機器を取り扱う場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 雷が発生しているときには、電話線の接続を行わないでください。
- ジャックが特別に設計されている場合を除き、電話のジャックを水気のある場所では設置しないでください。
- 電話回線がネットワーク インターフェイスから切り離されていない限り、絶縁されていない電話ケーブルや端子には、触れないでください。
- 電話回線の設置または変更は、十分注意して行ってください。

静電破壊の防止

静電放電 (ESD) によって機器が損傷し、電子回路に不具合が生じる可能性があります。静電放電は、電気プリント基板の取り扱いが不適切な場合に生じ、障害あるいは断続的障害を引き起こします。モジュールの取り外し時および交換時には、必ず ESD 保護手順に従ってください。

- 静電放電を受けやすいコンポーネントを輸送用ボックスから取り出すときは、アプライアンスにそのコンポーネントを取り付ける準備が整うまで、静電気防止用梱包材からコンポーネントを取り出さないでください。静電気防止用の梱包材を取り外す直前に、必ず身体から静電気を放電します。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントを輸送する場合、まずそのコンポーネントを静電気防止用の容器または包装材に配置します。
- 精密なコンポーネントは必ず耐静電気の安全な区域で処理します。可能な限り、静電気防止のフロア パッドおよび作業台を使用します。

- アプライアンスが電氣的にアースに接続されていることを確認してください。
- 静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。クリップをアプライアンスの塗装されていない表面に止めて、不要な静電気がアースに流れるようにします。静電破壊と感電を防ぐために、リストストラップとコードは効果的に使用する必要があります。
- リストストラップがない場合は、アプライアンスの金属部分に触れて、身体を接地してください。

**注意**

機器の安全を確保するために、静電気防止用リストストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は、1 ~ 10 Mohm でなければなりません。

持ち上げ時の注意事項

アプライアンスの重さは約 33 ポンドです。アプライアンスは、頻繁に移動されることを想定していません。アプライアンスを設置する前に、電源とネットワーク接続に対応するためにアプライアンスを後で移動する必要性が生じないように、設置場所が正しく準備されていることを確認してください。

アプライアンスまたは重い物を持ち上げる場合は、以下のガイドラインに従ってください。

- アプライアンスを持ち上げたり移動したりする前に、必ずすべての外部ケーブルを外してください。
- 足元を安定させ、両足で均等にシャーシの重量を支えるようにします。
- アプライアンスをゆっくり持ち上げます。突然移動したり、持ち上げるときに体をひねったりしないでください。
- 背中をまっすぐに保ち、背中ではなく脚で持ち上げます。アプライアンスを持ち上げるためにかがむ必要がある場合は、腰ではなく膝を曲げて、腰部の筋肉への負担を軽減してください。
- アプライアンスは下部から持ち上げてください。両方の手でアプライアンス外部の下側をつかみます。



技術仕様

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンス は、UCS C220 および UCS C240 サーバに基づいています。この付録は、次の項で構成されています。

- [Cisco Prime NAM 2420 の技術仕様](#)
- [Cisco Prime NAM 2440 の技術仕様](#)
- [SFP ポート ケーブルの仕様](#)
- [光タップ デバイス](#)

Cisco Prime NAM 2420 の技術仕様

次の表に、Cisco Prime NAM 2420 アプライアンスの技術仕様へのリンクを示します。

| 仕様 | 参照先 |
|---------------|--|
| 物理 | 『 Cisco UCS C220 Server Installation and Service Guide 』の「 Physical Specifications 」の項。 |
| Environmental | 『 Cisco UCS C220 Server Installation and Service Guide 』の「 Environmental Specifications 」の項。 |
| 電源 | 『 Cisco UCS C220 Server Installation and Service Guide 』の「 Power Specifications 」の項。 |
| RAID コントローラ | 『 Cisco UCS C220 Server Installation and Service Guide 』の「 RAID Considerations 」の項。 |

Cisco UCS C220 サーバの詳細については、『[Cisco UCS C220 Server Installation and Service Guide](#)』を参照してください。

Cisco Prime NAM 2440 の技術仕様

次の表に、Cisco Prime NAM 2440 アプライアンスの技術仕様へのリンクを示します。

| 仕様 | 参照先 |
|---------------|--|
| 物理 | 『Cisco UCS C240 Server Installation and Service Guide』の「 Physical Specifications 」の項。 |
| Environmental | 『Cisco UCS C240 Server Installation and Service Guide』の「 Environmental Specifications 」の項。 |
| 電源 | 『Cisco UCS C240 Server Installation and Service Guide』の「 Power Specifications 」の項。 |
| RAID コントローラ | 『Cisco UCS C240 Server Installation and Service Guide』の「 RAID Controller Considerations 」の項。 |

Cisco UCS C240 サーバの詳細については、『[Cisco UCS C240 Server Installation and Service Guide](#)』を参照してください。

SFP ポート ケーブルの仕様

Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンス は、使用するトランシーバ モジュールに応じて、次の 2 種類のケーブルを使用します。

- Cisco Prime NAM 2420 は、10G SFP モジュールを使用します。
- Cisco Prime NAM 2440 は、10G SFP+ モジュールを使用します。

SFP および SFP+ のケーブルの仕様については、『[Installing the GBIC, SFP, SFP+, XFP, CXP, and CFP Optical Modules in Cisco ONS Platforms](#)』を参照してください。

光タップ デバイス

光タップ デバイスを使用して、2 つのネットワーク デバイス間のトラフィック フローのコピーを取得できます。光タップ デバイスなどのパッシブ タップは、NAM アプライアンスへの接続にかかわらず通過するトラフィックが変更されず、障害のポイントが非常に少ないことを保証します。

光タップへの接続中はトラフィック フローが中断しますが、これは 1 分未満のはずであり、ネットワーク メンテナンス ウィンドウで行うことができます。

NAM アプライアンスは、両方の方向および複数のリンクから同時にタップ済みネットワークトラフィックを受信できるように、および高精度な解析のために受信済みトラフィックを単一のストリームにマージするように設計されています。

パッシブ光タップは、通過するトラフィックのネットワーク特性およびダイナミックを変更しませんが、光タップにより信号強度が低下するため、ネットワークのリンク長およびタップ位置を含むタップ仕様に従うように注意が必要です。



注

光ケーブル長の観点から、パッシブ タップの光スプリット比に注意してください。2つのデバイス間のケーブルまたはタップから NAM アプライアンスへのケーブルが非常に長い場合、2つのデバイスおよび NAM アプライアンスのすべての受信側信号でライン エラーが発生しない十分な強度を持つようにするため、50/50 以外の異なるスプリット比の選択が必要なことがあります。詳細については、光タップ デバイスの手順を参照してください。

表 C-1 に、タップ設定において Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスで正常に使用できることが確認されている 10 GE 光タップ デバイスを示します。

表 C-1 **10 Gb 光タップ**

| ベンダー | 製品説明 | モデル |
|------------------|---|----------------|
| NetOptics | 10 ギガビット ファイバ タップ (MM50:50 850 nm SC) | TP-SR4-SCSLM |
| | 10 ギガビット ファイバ タップ (MM50:50 850 nm SC) | TP-SR5-SCSLM |
| | 10 ギガビット ファイバ タップ (SM50:50 1310 nm SC) | TP-LR5-SCSLM |
| DataCom Systems | 単一チャンネル 10 Gb パッシブ タップ | F50/50/9-S-10G |
| Network Critical | SMF 9 850/1300NM 1000 base-LX、10 Gig-LR をサポート 10 Gig-ER | FO-S15002-LC |
| | MMF 50 850/1300NM 1000 base-SX、10 Gig-SR をサポート | FO-M35002-LC |



サイト ログのサンプルおよび設置前の作業のチェックリスト

サイト ログは、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの設置および保守に関連するすべてのアクションを記録するものです。タスクを実行する誰もが使用できるように、ログはアクセスしやすいアプライアンス シャーシの近くに置いてください。設置場所のログ エントリには、次の項目が含まれていることがあります。

- 設置の進行: アプライアンスの設置チェックリストのコピーを作成し ([設置前の作業のチェックリストのサンプル\(D-3 ページ\)](#) を参照)、サイト ログに挿入します ([サイト ログのサンプル\(D-1 ページ\)](#) を参照)。各タスクの完了時に、エントリを作成します。
- アップグレード、取り外し、およびメンテナンス手順: 進行中のアプライアンスのメンテナンスと拡張履歴のレコードとして、サイト ログを使用します。アプライアンスでタスクを実行するたびに、サイト ログを更新して、次の情報を反映させます。
 - 新規アダプタ カードの取り付け
 - アダプタ カードの取り外しまたは交換と、その他のアップグレード
 - 設定変更
 - メンテナンスのスケジュールと要件
 - 実行したメンテナンス手順
 - 間欠的な問題
 - コメントとメモ

サイト ログのサンプル

[表 D-1](#) で、サイト ログのサンプルを示します。サンプルをコピーする、またはサイトおよび機器のニーズに合った独自のサイト ログを設計します。

設置前の作業のチェックリストのサンプル

サイト準備には、設置前の作業のチェックリストと、設置に進む前に対処して同意する必要がある考慮事項の確認が含まれます。次に、設置前のチェックリストの例を示します。

1. 担当者を割り当てます。
2. 担当者、機器、および工具の保護要件を決定します。
3. メンテナンスに影響する可能性がある事故を評価します。
4. 設置の時期をスケジュールします。
5. スペースの要件を決定します。
6. 所要電力を決定します。
7. 必要な手順またはテストを特定します。
8. 機器の計画時に、設置を計画している各 Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスを配置する暫定的な決定を行います。
9. このハードウェア設置ガイドを確認します。
10. 設置のために交換可能なパーツ(ネジ、ボルト、ワッシャなど)のリストを確認して、特定します。
11. 必要な工具とテスト機器が使用可能であることを確認するために、必要な工具リストを調べます。
12. 設置を実行します。

■ 設置前の作業のチェックリストのサンプル



ヘルパー ユーティリティ

ヘルパー ユーティリティを使用して、Cisco Prime NAM 2400 シリーズ アプライアンスの以下のタスクを実行できます。



注

ヘルパー ユーティリティへのアクセス方法については、[リカバリ インストール \(6-3 ページ\)](#)を参照してください。

図 E-1 ヘルパー ユーティリティ メニュー

```
=====
Cisco Systems, Inc.
Network Analysis Module (NAM2420-K9) helper utility
Version 1.1(0.25)

-----
Main menu
1 - Download application image and write to HDD
2 - Download application image and reformat HDD
3 - Install application image from CD and reformat HDD
4 - Display software versions
5 - Reset application image CLI passwords to default
6 - Send Ping
7 - Configure Capture RAID settings
8 - Install application image from flash and reformat HDD
f - Check for and fix file system errors on local disk
s - Show upgrade log
n - Configure network
r - Exit and reset Services Engine
h - Exit and shutdown Services Engine
```

次の項では、[ヘルパー ユーティリティ メニュー](#)、各オプションの内容、および特定のオプションの使用要件について説明します。

ヘルパーユーティリティメニューの概要

表 E-1 ヘルパーユーティリティメニューオプションの概要

| メニューオプション | 説明 | 参照先 |
|-----------|---|---|
| 1 | アプリケーションイメージをダウンロードし、ハードディスクドライブに書き込みます。 | オプション 1: アプリケーションイメージをダウンロードし、HDD に書き込む (E-4 ページ) |
| 2 | アプリケーションイメージをダウンロードし、ハードディスクドライブを再フォーマットします。 | オプション 2: アプリケーションイメージをダウンロードし、HDD を再フォーマットする (E-4 ページ) |
| 3 | CD からアプリケーションイメージをインストールします。 | オプション 3: CD からアプリケーションイメージをインストールする (E-5 ページ) |
| 4 | ハードディスクに格納された現在の NAM アプリケーションイメージのバージョンを表示します。 | オプション 4: ソフトウェアバージョンを表示する (E-5 ページ) |
| 5 | ルートユーザと管理ユーザのパスワードをデフォルト値にリセットします。 | オプション 5: アプリケーションイメージ CLI パスワードをデフォルト値にリセットする (E-5 ページ) |
| 6 | ping を実行して、ネットワーク接続が存在するかどうかを調べます。 | オプション 6: ping を実行する (E-5 ページ) |
| 7 | キャプチャ RAID を設定します。 | オプション 7: キャプチャ RAID を設定する (E-6 ページ) |
| 8 | フラッシュからアプリケーションイメージをインストールし、ハードディスクドライブを再フォーマットします。 | オプション 8: フラッシュからアプリケーションイメージをインストールし、HDD を再フォーマットする (E-7 ページ) |
| f | ローカルディスクのファイルシステムエラーをチェックし、修正します。 | オプション f: ローカルディスクのファイルシステムエラーをチェックし、修正する (E-7 ページ) |
| s | アップグレードログを表示します。 | オプション s: アップグレードログを表示する (E-7 ページ) |
| n | アプライアンスのネットワークパラメータを設定します。 | オプション n: ネットワークを設定する (E-3 ページ) |
| r | ヘルパーユーティリティを終了し、電源を再投入して(リブートして)NAM アプリケーションイメージを起動します。 | オプション r: サービスエンジンを終了し、リセットする (E-7 ページ) |
| h | ヘルパーユーティリティを終了し、NAM アプライアンスをシャットダウンします。 | オプション h: サービスエンジンを終了し、シャットダウンする (E-7 ページ) |

オプション n: ネットワークを設定する

オプション n を使用して、アプライアンスのネットワーク パラメータを設定します。

- ステップ 1** [Configure Network Interface] メニューが表示されたら、**1** と入力してネットワークを手動で設定します。

```
-----  
Configure Network interface:  
1 - Configure network manually  
2 - Show config  
3 - Write config to application image  
r - return to main menu  
Selection [123r]: 1
```

- ステップ 2** ユーティリティで、アプライアンスの IP アドレス、ネットマスク、およびデフォルト ゲートウェイを入力するよう求められます。

```
Enter IP configuration:  
IP address []: 172.20.122.93  
netmask []: 255.255.255.128  
default gateway []: 172.20.122.1
```

```
-----  
Configure Network interface:  
1 - Configure network manually  
2 - Show config  
3 - Write config to application image  
r - return to main menu  
Selection [123r]:
```

- ステップ 3** 使用しているネットワーク設定を確認するには、**2** と入力します。

```
Selection [123r]: 2  
  
eth0      Link encap:Ethernet HWaddr 00:0E:0C:EE:50:3E  
          inet addr:172.20.122.93 Bcast:172.20.122.127 Mask:255.255.255.128  
          UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500 Metric:1  
          RX packets:210 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0  
          TX packets:0 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0  
          collisions:0 txqueuelen:1000  
          RX bytes:13632 (13.3 KiB) TX bytes:0 (0.0 b)  
  
Kernel IP routing table  
Destination      Gateway          Genmask          Flags Metric Ref    Use Iface  
172.20.122.0     0.0.0.0         255.255.255.128 U        0      0 eth0  
0.0.0.0         172.20.122.1   0.0.0.0         UG      0      0 eth0  
-----  
Configure Network interface:  
1 - Configure network manually  
2 - Show config  
3 - Write config to application image  
r - return to main menu  
Selection [123r]:
```

オプション1: アプリケーションイメージをダウンロードし、HDDに書き込む

オプション1を使用して、FTP サーバの場所から現在のアプリケーション イメージのバージョンをダウンロードし、イメージをハード ディスクに書き込みます。



注

NAM アプリケーションがすでにインストールされ、ネットワークが設定された場合、ネットワーク設定はヘルパーにより自動的に検出されます。検出されない場合は、このオプションを使用する前に、オプション n を使用してネットワークを設定する必要があります。

このオプションを使用すると、FTP サーバの場所または HTTP を使用してアクセスできる場所から現在のアプリケーションのバージョンがダウンロードされます。また、Cisco.com から [NAM ソフトウェアの最新バージョンをダウンロード](#)することもできます。

この URL を使用するには、シスコ サービス契約を締結している必要があります。zip 形式のソフトウェアをダウンロードするためにインターネットへのアクセスが必要です。

オプション2: アプリケーションイメージをダウンロードし、HDDを再フォーマットする

オプション2を使用して、現在のアプリケーション イメージをダウンロードし、イメージをハード ディスクに書き込みます。



注意

このオプションを使用すると、アプリケーション イメージを書き込む前にハード ディスクが再フォーマットされ、レポート、パケット キャプチャ、設定などのすべてのデータが破棄されます。ただし、ネットワーク接続設定は保持されます。



注

NAM アプリケーションがすでにインストールされ、ネットワークが設定された場合、ネットワーク設定はヘルパーにより自動的に検出されます。検出されない場合は、このオプションを使用する前に、オプション n を使用してネットワークを設定する必要があります。

このオプションを使用すると、FTP サーバの場所または HTTP を使用してアクセスできる場所から現在のアプリケーション イメージのバージョンがダウンロードされます。また、Cisco.com から [NAM ソフトウェアの最新バージョンをダウンロード](#)することもできます。

この URL を使用するには、シスコ サービス契約を締結している必要があります。zip 形式のソフトウェアをダウンロードするためにインターネットへのアクセスが必要です。

オプション 3: CD からアプリケーション イメージをインストールする

オプション 3 を使用して、リカバリ CD から現在のアプリケーション イメージをインストールします。このオプションは、前述したようにネットワークに接続して、NAM ソフトウェアのバージョンをダウンロードすることができないときに必要な場合があります。



注意

このオプションを使用すると、アプリケーション イメージを書き込む前にハード ディスクが再フォーマットされ、レポート、パケット キャプチャ、設定などのすべてのデータが破棄されます。ただし、ネットワーク接続設定は保持されます。



注

リカバリ CD で利用可能な NAM ソフトウェアのバージョンは、そのソフトウェアの最初のリリースであり、パッチまたはアップグレードを含みません。このオプションを使用する場合は、[ソフトウェアのアップグレード \(6-2 ページ\)](#) を参照してください。

オプション 4: ソフトウェア バージョンを表示する

オプション 4 を使用して、ハード ディスクに格納された NAM アプリケーション イメージの現在のバージョンを表示します。

```
Selection [123456789dnfrh]:4
-----
NAM application version: 6.2
Selection [123456789dnfrh]:
```

オプション 5: アプリケーション イメージ CLI パスワードをデフォルト値にリセットする

オプション 5 を使用して、ルート ユーザと管理ユーザのパスワードをデフォルト値にリセットします。

オプション 6: ping を実行する

オプション 7 を使用して、ping を実行し、ネットワーク接続が存在するかどうかを調べます。要求された場合は、ping を実行する対象の IP アドレスまたは完全ドメイン名を入力します。

```
IP address to ping []: 172.20.122.91

Sending 5 ICPM ECHO_REQUEST packets to 172.20.122.91.
PING 172.20.122.91 (172.20.122.91) 56(84) bytes of data.
64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=1 ttl=64 time=0.151 ms
64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=2 ttl=64 time=0.153 ms
```

■ オプション7: キャプチャ RAID を設定する

```

64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=3 ttl=64 time=0.125 ms
64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=4 ttl=64 time=0.102 ms
64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=5 ttl=64 time=0.166 ms

--- 172.20.122.91 ping statistics ---
5 packets transmitted, 5 received, 0% packet loss, time 4000ms
rtt min/avg/max/mdev = 0.102/0.139/0.166/0.025 ms

```

オプション7: キャプチャ RAID を設定する

オプション8を使用して、キャプチャ RAID を設定します。このオプションには、次のサブオプションが含まれます。

```

-----
Capture RAID Menu
1 - Rebuild all failed disks
2 - Add all new disks to the Capture RAID
3 - Decommission the Capture RAID (destructive)
4 - Construct the Capture RAID (destructive)
c - Show current Capture RAID configuration
p - Show all progress of Capture RAID reconfiguration
r - return to main menu
-
Selection [1234cpr]:

```

次の表で、これらの各サブオプションについて説明します。

表 E-2 **キャプチャ RAID メニュー オプション**

| メニュー オプション | 説明 |
|---------------|--|
| 1 | 障害が発生したすべてのディスクを再構築します。 |
| 2 | 新しいディスクをキャプチャ RAID に追加します。NAM アプリケーションの再フォーマット インストールが最後に実行された以降にディスクが取り付けられた場合、RAID はそれらのディスクを含むよう拡張されます。 |
| 3 | キャプチャ RAID を解放します。このオプションを使用すると、ハード ディスクがクリーンアップされ、キャプチャ データのみが破棄されます。他のすべてのデータはシステム RAID に保持されます。 |
| 4 | キャプチャ RAID を構築します。 |
| c | 現在のキャプチャ RAID 設定を表示します。 |
| p | キャプチャ RAID 再設定の進行状況を表示します。 |
| r | メイン メニューに戻ります。 |

オプション 8: フラッシュからアプリケーション イメージをインストールし、HDD を再フォーマットする

オプション 9 を使用して、フラッシュからアプリケーション イメージをインストールし、ハードディスクを再フォーマットします。



注意

このオプションを使用すると、アプリケーション イメージを書き込む前にハード ディスクが再フォーマットされ、レポート、パケット キャプチャ、設定などのすべてのデータが破棄されます。ただし、ネットワーク接続設定は保持されます。



注

NAM アプリケーションがすでにインストールされ、ネットワークが設定された場合、ネットワーク設定はヘルパーにより自動的に検出されます。検出されない場合は、このオプションを使用する前に、オプション n を使用してネットワークを設定する必要があります。

オプション f: ローカル ディスクのファイルシステム エラーをチェックし、修正する

オプション f を使用して、ローカル ディスクのファイルシステム エラーを見つけ、修正します。パーティションサイズによっては、このオプションを実行するのに時間がかかることがあります。

オプション s: アップグレード ログを表示する

オプション s を使用してアップグレード ログを表示します。

オプション r: サービス エンジンを終了し、リセットする

オプション r を使用して、ヘルパー ユーティリティを終了し、電源を再投入して(リブートして)、新しくインストールされたアプリケーション イメージを起動します。

オプション h: サービス エンジンを終了し、シャットダウンする

オプション h を使用して、ヘルパー ユーティリティを終了し、NAM アプライアンスをシャットダウンします。

```
-----  
Selection [12345678fsnrh]: h  
About to exit and shutdown NAM.  
Are you sure? [y/N] y  
Stopping internet superserver: inetd.  
Stopping OpenBSD Secure Shell server: sshd.  
Stopping internet superserver: xinetd.
```

■ オプション h: サービスエンジンを終了し、シャットダウンする

```
Stopping internet superserver: xinetd-ipv4.  
: done.  
Shutting down NAM (NAM2420-K9), part 1:  
Stopping klogd . . .  
Stopping syslogd . . .  
Sending all processes the TERM signal... done.  
Sending all processes the KILL signal... done.  
Unmounting remote filesystems... done.  
Deactivating swap...done.  
Unmounting local filesystems...done.  
Starting halt command: halt  
Power down.  
-----
```